

XI 教育課程及び教授内容

第 1 学 年

令和6年度入学生（第55回生）

令和6年度入学生（第55回生）教育課程

教育内容	該当科目		単位数	時間数	第1学年		第2学年		第3学年	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野					10	160				
科学的思考の基盤・人間と生活	自然科学・人文科学・社会学	化学	1	15	●					
		生物学の基礎	1	15	●					
		数学統計の基礎	1	15			●			
		社会倫理学	1	15			●			
	外国語	情報科学	1	20	●					
		実践英語	1	15	●					
		歯科英語	1	15			●			
コミュニケーション学	行動科学	1	20						●	
	心理学	2	30	●	●					
専門基礎分野					22	355				
人体の構造と機能	人体構造学	解剖学	2	30	●					
		組織・発生学	1	20		●				
	人体機能学（生理学）	2	30		●					
歯・口腔の構造と機能	生体物質・口腔の化学（生化学）		1	20	●					
	口腔構造学	口腔解剖学	2	30	●	●				
		歯牙解剖	1	20	●					
疾病の成り立ちと回復過程の促進	病理学・口腔病理学		2	30		●				
	薬理学・歯科薬理学		2	30		●				
	微生物学・口腔微生物学		2	30		●				
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	口腔衛生	1	20	●					
		公衆歯科衛生・歯科衛生統計	2	30		●				
	衛生学・公衆衛生学		1	20	●					
	カリオロジー学		1	15					●	
	衛生行政・社会福祉		2	30			●			
専門分野					64	2225				
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論		2	30	●	●				
	歯・歯髄疾患論	保存修復学	1	20		●				
		歯内療法学	2	30			●			
臨床歯科医学	歯周疾患論	歯周療法学Ⅰ	2	30			●			
		歯周療法学Ⅱ	2	40					●	
	咀嚼障害・咬合異常論	歯科補綴学Ⅰ	1	15			●			
		歯科補綴学Ⅱ	1	15			●			
		歯科矯正学	1	15			●			
	顎口腔疾患論		口腔外科学	1	20			●		
小児歯科学			1	20			●			
障がい者・高齢者歯科学			1	20			●			
予防処置論	口腔疾患予防処置法	Ⅰ	4	160	●	●				
		Ⅱ	2	80			●	●		
		Ⅲ	2	80					●	●
歯科保健指導論	口腔保健学	保健指導法Ⅰ（含 栄養指導）	3	120	●	●				
		保健指導法Ⅱ	2	80			●	●		
		保健指導法Ⅲ（含 関連医学）	2	80					●	●
		歯科衛生ケアプロセスⅠ	1	15			●			
		歯科衛生ケアプロセスⅡ	1	15			●			
歯科診療補助論	口腔診療補助法	Ⅰ	3	120	●	●				
		Ⅱ（含 歯科材料、歯科放射線学、全職技術）	3	120			●	●		
		Ⅲ	3	120					●	●
		感染予防学	1	15			●			
		臨床検査法	1	20				●		
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習Ⅰ		2	90	●	●				
	臨地・臨床実習Ⅱ		8	360			●	●		
	臨地・臨床実習Ⅲ		11	495					●	●
必修隣接分野					15	359				
総合科目（健康と教養）	看護学Ⅰ		1	15			●			
	看護学Ⅱ		1	15						●
	摂食・咀嚼・嚥下指導		2	40					●	●
	病院管理学（社会保険・請求事務、歯科マネージメント）		1	15						●
	総合歯学		5	104						●
研究	海外研修		2	90			●	●		
	研究	Ⅰ	1	20			●			
		Ⅱ	1	30			●	●		
		Ⅲ	1	30					●	●
総計			111	3099	470	525	550	500	620	434
					995		1050		1054	

化学

担 当 者	黒石 智誠		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	1 5	1 年 前 期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「化学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	必要に応じて紹介する。		
学 習 目 標	様々な専門科目を学習する上での基礎となる「化学」を修得する。 中学～高校で学習した「化学」の総復習。		
学 習 方 略	スライドを中心に講義し、必要に応じて資料を配付する。 随時、小テストを行い、理解度を確認する。		
学 習 評 価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>原子、分子</u>	黒石 智誠	
2	<u>原子量、分子量、物質質量 (モル)</u>	黒石 智誠	
3	<u>原子の電子配置、イオン、化学結合</u>	黒石 智誠	
4	<u>水溶液、親水性、疎水性、コロイド</u>	黒石 智誠	
5	<u>溶液の濃度</u>	黒石 智誠	
6	<u>酸、アルカリ</u>	黒石 智誠	
7	<u>酸化、還元、金属のイオン化傾向</u>	黒石 智誠	
8	<u>有機化合物</u>	黒石 智誠	
	<u>試験</u>	黒石 智誠	

生物学の基礎

担 当 者	竹田 山原楽		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「生物学」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	和田勝 著：「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」		
学習目標	生物学の基礎知識を習得すると共に、科学的思考を身につける。		
学習方略	資料を配付し、スライドショーを用いて解説を行う。		
学習評価	筆記試験を実施し、講義内容の理解度を問う。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>講義：「生命」とは何か</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
2	<u>講義：生命の構造① 細胞</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
3	<u>講義：生命の構造② 細胞から個体へ</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
4	<u>講義：生命の連続① 生殖、遺伝</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
5	<u>講義：生命の連続② 発生</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
6	<u>講義：生命の活動① 刺激の受容・伝達</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
7	<u>講義：生命の活動② 刺激への応答</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター
	<u>試験</u>	竹田 山原楽	
8	<u>試験解説</u>	竹田 山原楽	配付資料 プロジェクター

情報科学

担当 者	萩原 潤		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
1	20	1 年前期	
教 科 書	必要に応じて資料を配付する		
参 考 図 書	門脇香奈子 著:「今すぐ使えるかんたんぜったいできます！ ワード&エクセル超入門」(技術評論社)		
学 習 目 標	<p>本講義では日常生活・学生生活において PC や、ネットワークを利用する上で必要なリテラシーの講義を行う。PC を使って情報を活用し、わかりやすく伝える方法を学ぶ。レポート作成やプレゼン演習を通して今後の学生生活に必要な PC スキルの上達を目指す。具体的な内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) キーボードの操作に慣れ、文字を的確に入力できる。 2) ワードを活用して、レポートの作文技能を習得し、図や表が入った文章を作成できる。 3) エクセルで表を作成し、簡単な数式を設定して、結果をグラフ化できる。 4) インターネットを活用し必要な情報を収集できる。 5) パワーポイントを用いて自らの考えを効果的に表現できる。 		
学 習 方 略	PC を使用した演習を中心とする		
学 習 評 価	講義中に指定する課題と演習への取り組みの態度により総合的に評価する		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>PCの基本操作</u> ウィンドウズの基本操作について学ぶ。 <u>タイプ練習</u> タッチタイプ練習により、キーボード入力に慣れる。	萩原 潤	PC
2	<u>ワード基礎</u> ワードの基本操作を修得し、簡単な文書を作成する。	萩原 潤	PC

3	<u>ワード応用</u> コピーや貼り付け、文字の装飾などワードの機能を用いて文書を作成する。	萩原 潤	PC
4	<u>エクセルの基礎と応用</u> データ入力、式の作成、簡単なグラフ作成を通して集計を行う。 関数を利用したデータの集計を行う。 データの種類に合った見やすいグラフを作成する。	萩原 潤	PC
5	<u>パワーポイント</u> 図やアニメーションを入れた、見やすいスライドを作成する。	萩原 潤	PC
6	<u>情報リテラシー</u> コンピュータやネットワークを利用するにあたって必要なルールやマナー、そしてセキュリティに関する講義を行う。	萩原 潤	PC
7	<u>ワード演習</u> インターネットの検索機能とワードの機能を用いて演習課題に取り組む。	萩原 潤	PC
8	<u>レポート作成演習</u> インターネットを利用して情報を検索し、Word の機能を用いてレポート作成に関する演習課題に取り組む。	萩原 潤	PC
9	<u>パワーポイント演習</u> これまで得た技術を用いてパワーポイントを用いた演習課題に取り組む。	萩原 潤	PC
10	<u>プレゼンテーション演習</u> 前回の演習課題をもとにプレゼンテーションの演習を行う。他者の発表を聞くことで、自身の発表時に必要なことを考える機会とする。	萩原 潤	PC
	<u>試験・レポート</u>	萩原 潤	

実践英語

担当者	Marie-J. Brassard		
単位	時間数	履修時期	
1	15	1年前期	
教科書	Material based on Text		
参考図書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科英語」 (医歯薬出版)		
学習目標	English subject Dental English, conversation, and structures		
学習方略	Lectures, hearing, written and oral practice		
学習評価	Exam 100% Oral presentation : self-introduction 1~2 m speech		

回数	講義内容・項目	担当講師	使用機材
1	<p>U.1 <u>Going Abroad: Making a Speech</u> Grammar points 1. The order of sentences 2. 'Wh' questions <u>Dialogue practice:</u> vocabulary, structures and Speech making examples Basics of Speech Writing: Introduction, body and conclusion <u>Hearing comprehension text:</u> Example of speech Vocabulary & pronunciation Questions</p>	Marie-J. Brassard	
2	<p>U.2 Dialog. 1 <u>Making an Appointment</u> Vocabulary Building G Pt1. Verb to Be - Q & A G Pt2. Present tense: Expressing habit, used with Time expressions-Writing exercises Oral practice, pronunciation practice</p> <p>Dialog. 2 <u>At the Dentist's Office</u> Vocabulary building Oral practice and pronunciation practice Reading/Hearing comprehension: Prevention is the Best Cure</p>	Marie-J. Brassard	

3	<p>U.3 Dialogue 1 <u>Needing Treatments for a Root Canal</u> Vocabulary building G Pt1: Will: indicating future Q&A G Pt2: When conjunction Writing exercises</p> <p>Dialogue 2 <u>Checking up on a Patient</u> New vocabulary Oral practice, and making new dialogues Reading/Hearing comprehension +Q&A</p>	Marie-J. Brassard	
4	<p>U.4 Dialogue 1 <u>Request for Medicine</u> New vocabulary G Pt1: Be + going to + inf. verb/Q&A Writing ex. Oral practice and pronunciation</p> <p>Dialogue 2 <u>A Conversation with the Dental Hygienist</u> New vocabulary G Pt2: Have + p.p. V had + pp structures Writing ex, oral practice Reading/Hearing comprehension Q&A</p>	Marie-J. Brassard	
5	<p><u>Writing a speech draft:</u> Writing an outline. What do you want to say? Introducing your topic, developing ideas And concluding your speech</p>	Marie-J. Brassard	
6	<p>U.5 Dialogue 1 <u>Describing Symptoms</u> New vocabulary G Pt1: Verb + adjective / location Writing exercises and oral practice</p> <p>Dialogue 2 <u>The Diagnosis</u> New vocabulary Making new dialogues oral practice and pronunciation Reading/hearing comprehension + Q&A</p>	Marie-J. Brassard	
7	<p><u>Pronunciation practice: consonants and vowels</u> Listening Challenge 1 & 2</p> <p><u>Practicing your speech:</u> stance, gestures, voice, eye contact Practicing your speech in small groups plus Group evaluations for improvement</p>	Marie-J. Brassard	
8	<p><u>Speech presentation in class</u></p>	Marie-J. Brassard	
	<p><u>Exam 100%</u></p>	Marie-J. Brassard	

コミュニケーション学～心理学～

担 当 者	栗木 一博 保坂 誠		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	1年前・後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「心理学」 (医歯薬出版) その必要に応じて資料を配付する。		
参 考 図 書	参考になる書籍、文献等は講義中に紹介する。		
学 習 目 標	授業で紹介される、いろいろな種類の人の行動について、どのような法則性があるのかについて理解を深めるとともに、それを基礎として、自分自身をはじめ、周りにいる人々の行動について、さらに自分と周りの人々との関係について客観的分析的に考える態度を身につける。		
学 習 方 略	上記の目標を達成するために具体的な事例を紹介する。それらを自分自身の体験と照らし合わせながら学習する。		
学 習 評 価	授業内に実施される小レポートをはじめ、質問、発表など授業に対する積極的な取り組みを高く評価する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>心理学とは</u> ・心理学の歴史と現代の心理学 ・心理学の研究法	栗木 一博	プロジェクター
2	<u>感覚と知覚</u> ・感覚、視覚、聴覚 ・注意の心理学	栗木 一博	プロジェクター
3	<u>学習</u> ・生得的な行動と単純な学習性の行動 ・様々な学習	栗木 一博	プロジェクター
4	<u>認知(1)</u> ・記憶のシステムと働き ・言語と思考	栗木 一博	プロジェクター
5	<u>認知(2)</u> ・認知と注意 ・日常生活の中の認知	栗木 一博	プロジェクター
6	<u>感情</u> ・感情心理学の理論 ・感情と身体・社会	栗木 一博	プロジェクター

7	<u>動機づけとは(1)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・動機づけの仕組み ・社会的動機づけ 	栗木 一博	プロジェクター
8	<u>動機づけとは(2)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・「認知」「欲求」「情動」と動機づけ ・内発的動機づけと外発的動機づけ 	栗木 一博	プロジェクター
9	<u>発達</u> <ul style="list-style-type: none"> ・認知・思考の発達 ・対人関係・社会性の発達 	栗木 一博	プロジェクター
10	<u>パーソナリティ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・パーソナリティの様々なとらえ方 ・パーソナリティの測定 	栗木 一博	プロジェクター
11	<u>心理トリートメント</u> <ul style="list-style-type: none"> ・こころに対する様々なアプローチ ・実証に基づく心理トリートメント 	栗木 一博	プロジェクター
12	<u>健康と心理学</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスとその影響 ・ストレス対処 	栗木 一博	プロジェクター
13	<u>社会心理学</u> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的世界と自己 ・社会的認知・社会的影響力 	栗木 一博	プロジェクター
14	<u>コミュニケーション(1)</u> 講義資料 P1-6 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの語源 ・対人コミュニケーション ・人間におけるコミュニケーション 	保坂 誠	プロジェクター
15	<u>コミュニケーション(2)</u> 講義資料 P7-12 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの原理 ・コミュニケーションの特徴 ・対人関係の中での自己成長 	保坂 誠	プロジェクター
	<u>レポート課題</u>	栗木 一博	

解剖学

担当 者	佐藤 匡		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	3 0	1 年 前 期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）		
学 習 目 標	人体の構造の概要を理解する。身体の部位を解剖学的な名称で言える。		
学 習 方 略	講義		
学 習 評 価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>解剖学総論</u> 解剖学の意義、解剖学概説	佐藤 匡	プロジェクター
2	<u>骨格系 I</u> 骨の概説、頭蓋骨は概説	佐藤 匡	プロジェクター 骨標本
3	<u>骨格系 II</u> 体幹骨、上肢骨、下肢骨	佐藤 匡	プロジェクター 骨標本
4	<u>筋系</u> 筋の概説、各部位の主な筋	佐藤 匡	プロジェクター 骨標本
5	<u>内臓学 I</u> 概説 消化器系 1：口腔・咽頭・食道・嚥下	佐藤 匡	プロジェクター
6	<u>内臓学 II</u> 消化器系 2：胃・小腸・大腸・肛門、肝臓・胆嚢・ 膵臓・腹膜後器官	佐藤 匡	プロジェクター

7	<u>内臓学 III</u> 呼吸器系：鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、肺 泌尿器系：腎臓・尿管・膀胱・尿道	佐藤 匡	プロジェクター
8	<u>内臓学 IV</u> 生殖器系：男・女生殖器 内分泌系：臓器の概説	佐藤 匡	プロジェクター
9	<u>脈管系 I</u> 脈管系の概説 心臓	佐藤 匡	プロジェクター
10	<u>脈管系 II</u> 動脈系・静脈系	佐藤 匡	プロジェクター
11	<u>脈管系 III</u> 胎児の循環系 リンパ系：リンパ・扁桃・胸腺・脾臓	佐藤 匡	プロジェクター
12	<u>神経系 I</u> 中枢神経系：脳・脊髄	佐藤 匡	プロジェクター
13	<u>神経系 II</u> 末梢神経系：脳神経・脊髄神経	佐藤 匡	プロジェクター
14	<u>神経系 III</u> 末梢神経系：自律神経	佐藤 匡	プロジェクター
15	<u>感覚器</u> 目・耳・鼻・舌・皮膚	佐藤 匡	プロジェクター
	<u>試験</u>	佐藤 匡	

組織・発生学

担 当 者	中村 恵	
単 位	時間数	履修時期
1	20	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」、歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）	
参 考 図 書		
学習目標	細胞・組織・発生についての概要を理解する。（細胞、組織①②、発生①②） 歯と歯周組織の組織学的構造と機能および発生について理解する。（口腔組織・発生①②③④⑤）	
学習方略	授業内容を把握し、教科書をまとめ復習する。	
学習評価	試験によって評価する。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>細胞</u> ：細胞の構造、一生	中村 恵	プロジェクター
2	<u>組織①</u> ：種類と構成、上皮組織、支持組織	中村 恵	プロジェクター
3	<u>組織②</u> ：筋組織、神経組織	中村 恵	プロジェクター
4	<u>発生①</u> 染色体と減数分裂、精子と卵子の発生、受精と着床、胚葉の形成	中村 恵	プロジェクター
5	<u>発生②</u> 胎児の成長と発育、顔面と口腔の発生	中村 恵	プロジェクター
6	<u>口腔組織・発生①</u> 歯の形態、歯と歯周組織の発生	中村 恵	プロジェクター

7	<u>口腔組織・発生②</u> エナメル質	中村 恵	プロジェクター
8	<u>口腔組織・発生③</u> 象牙質・歯髄複合体	中村 恵	プロジェクター
9	<u>口腔組織・発生④</u> セメント質、歯根膜	中村 恵	プロジェクター
10	<u>口腔組織・発生⑤</u> 歯槽骨、歯肉	中村 恵	プロジェクター
	<u>試験</u>	中村 恵	

人体機能学(生理学)

担 当 者	中井 淳一 安藤 恵子		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」、歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	岩田幸一・井上富雄・舩橋誠・加藤隆史 編：「基礎歯科生理学7版」(医歯薬出版)		
学習目標	人体の機能(しくみ)の基礎的事項を学び、理解する。さらに、歯科衛生士として必要な歯および口腔の機能に関する知識を修得する。		
学習方略	講義(スライドやプリント配付)		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	「 <u>解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと</u> 」 生理学とは 「 <u>細胞と組織</u> 」 細胞の構造、細胞内小器官と基本的機能	中井 淳一	プロジェクター
2	「 <u>循環</u> 」 体液・血液 体液の種類、量、調節、血液成分、血液の機能 血液凝固系と線溶系、血液型と輸血	安藤 恵子	プロジェクター
3	「 <u>循環</u> 」 心臓 体循環・肺循環、心臓の構造とはたらき、心拍、刺激伝導系、活動電位、心電図、循環中枢 血管の機能 種類、血圧、圧受容、血液量と血圧調節、リンパ循環、循環ショック	安藤 恵子	プロジェクター
4	「 <u>呼吸</u> 」 呼吸器の構成、胸郭の構造と換気の仕組み、肺気量と換気量、ガス交換、O ₂ とCO ₂ の運搬、呼吸調節、呼吸中枢、酸塩基平衡	安藤 恵子	プロジェクター
5	「 <u>消化・吸収</u> 」 消化管の構造、消化と吸収のしくみ、口腔、食道、胃の機能、小腸・大腸の機能、消化管運動、消化管ホルモン	安藤 恵子	プロジェクター

6	<p>「<u>神経系</u>」 神経系の概要 神経系の構成 細胞の種類とはたらき、構造、神経系の機能(静止膜電位、電気緊張性電位、活動電位、伝導、伝達)</p> <p>「<u>中枢神経系</u>」 大脳～脊髄の働き、高次機能、脳波 脳脊髄膜・脳脊髄液の構造とはたらき</p> <p>「<u>末梢神経系</u>」 体性神経系、自律神経系の構造と機能</p>	安藤 恵子	プロジェクター
7	<p>「<u>筋と運動</u>」 筋(骨格筋、心筋 平滑筋)の構造と機能・収縮様式 筋紡錘の働き、運動ニューロン、反射と随意運動、姿勢調節、筋電図</p>	安藤 恵子	プロジェクター
8	<p>「<u>感覚</u>」 感覚の基本的性質、特殊感覚器(視覚・聴覚・平衡感覚)の構造と機能、体性・内臓感覚、痛覚</p>	安藤 恵子	プロジェクター
9	<p>「<u>排泄</u>」 排便、排尿、皮膚からの発汗 尿の性状、腎臓の構造と尿生成のしくみ、酸塩基平衡</p> <p>「<u>体温</u>」 熱の産生・放散、体温調節中枢、体温調節</p>	安藤 恵子	プロジェクター
10	<p>「<u>内分泌</u>」 内分泌器官の構造、下垂体、視床下部、睪臓、副腎、性腺、その他のホルモン、恒常性の維持、ホルモン調節</p>	安藤 恵子	プロジェクター
11	<p>「<u>内分泌</u>」 血中カルシウム濃度の調節、歯とホルモン</p> <p>「<u>生殖</u>」 性周期とホルモン、分娩と乳汁分泌</p>	安藤 恵子	プロジェクター
12	<p>「<u>歯及び歯周組織の構造と機能</u>」 象牙質・歯髄複合体 歯根膜</p> <p>「<u>歯と口腔の感覚</u>」 歯の感覚、歯根膜感覚、歯髄感覚、口腔粘膜の感覚</p>	安藤 恵子	プロジェクター
13	<p>「<u>味覚と嗅覚</u>」 味物質、基本味、味覚の役割、神経機構、味覚障害 嗅覚の役割、特性、神経機構</p>	安藤 恵子	プロジェクター
14	<p>「<u>咬合と咀嚼・吸啜</u>」 下顎位、下顎の運動、反射、摂食行動、咀嚼能力、吸啜</p>	安藤 恵子	プロジェクター
15	<p>「<u>発声・嚥下・嘔吐</u>」 言語野、声の生成、構音障害、口腔の病態と発音 嚥下の概要、食塊の動き、嚥下の神経機構 嘔吐の誘発機序、嘔吐の神経機構</p> <p>「<u>唾液</u>」 唾液腺、唾液の分泌調節、唾液の作用 唾液の性状・成分、唾液と疾患</p>	中井 淳一	プロジェクター
	<p><u>試験</u></p>	中井 淳一 安藤 恵子	

生体物質・口腔の化学(生化学)

担 当 者	高橋 信博 土門 ひと美	
単 位	時間数	履修時期
1	2 2	1 年前期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能 2 栄養と代謝」(医歯薬出版)	
参 考 図 書	菊地吾郎、他 編：「一般医化学」(南山堂) 早川太郎、他 編：「口腔生化学」(医歯薬出版) 織田正豊、他 編：「歯科用語小辞典」(クインテッセンス)	
学習目標	歯科衛生士として、患者に口腔衛生指導・栄養管理指導する上で必要な生化学的知識、並びに齲蝕・歯周病等の病因・予防を理解するための基礎として必要な口腔生化学的知識を身につける。	
学習方略	講義および復習	
学習評価	出席および試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>栄養と代謝ー生化学で学ぶこと・栄養学で学ぶことー</u> イントロダクション、生化学と栄養学、歯科衛生士が生化学・栄養学を学ぶ意義	高橋 信博	プロジェクター
2	<u>生体の構成要素 1</u> 細胞の役割、生体における水	土門 ひと美	プロジェクター
3	<u>生体の構成要素 2</u> 生体構成成分と栄養素：糖質、脂質、タンパク質、ミネラル、ビタミン	土門 ひと美	プロジェクター
4	<u>生体における化学反応</u> 消化と吸収、酸素の運搬と二酸化炭素の排出、酵素	高橋 信博	プロジェクター

5	<u>糖質の代謝</u> エネルギー代謝の全体像、解糖、グリコーゲンの合成と分解、クエン酸回路、電子伝達系、糖質の代謝によって得られるエネルギー量	高橋 信博	プロジェクター
6	<u>脂質の代謝</u> β 酸化、脂肪の合成、脂質の代謝によって得られるエネルギー量	高橋 信博	プロジェクター
7	<u>タンパク質とアミノ酸の代謝</u> タンパク質の加水分解、アミノ酸の代謝分解、タンパク質の合成	高橋 信博	プロジェクター
8	<u>生体における恒常性の維持</u> 恒常性（ホメオスタシス）、ホルモンと自律神経系	高橋 信博	プロジェクター
9	<u>歯と歯周組織の生化学</u> 結合組織（コラーゲン、プロテオグリカンなど）、歯（組成、無機成分、有機成分など）	土門 ひと美	プロジェクター
10	<u>硬組織の生化学</u> 血清中のカルシウムとリン酸、石灰化の仕組み、骨の生成と吸収、歯の脱灰と再石灰化	土門 ひと美	プロジェクター
11	<u>プラークと唾液の生化学</u> プラークの生物活性（齲蝕発症機構・歯周疾患発症機構・口臭発症機構）、唾液（無機質、有機質など）	土門 ひと美	プロジェクター
	<u>試験</u>	高橋 信博	

口腔解剖学

担当 者	佐藤 匡		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	1 年前・後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」（医歯薬出版）		
学 習 目 標	口腔を中心に頭頸部の解剖についての基礎知識を身につける。		
学 習 方 略	主に教科書の内容に従って講義を進める。		
学 習 評 価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>総論</u> 口腔付近の解剖学総論	佐藤 匡	プロジェクター
2	<u>口腔とは</u> 口腔周囲の基本構造、口腔前庭（口唇、頬、歯肉）、固有口腔（口蓋、口腔底、舌）	佐藤 匡	プロジェクター
3	<u>口腔を構成する骨①</u> 口腔を構成する骨の概要（頭蓋および顔面を構成する骨の概略）	佐藤 匡	プロジェクター
4	<u>口腔を構成する骨②</u> 頭蓋骨（頭蓋を構成する各骨の詳細、頭蓋の前面・上面・後面・側面）	佐藤 匡	プロジェクター
5	<u>口腔を構成する骨③</u> 頭蓋骨（頭蓋を構成する各骨の詳細、頭蓋の下面・内面）	佐藤 匡	プロジェクター
6	<u>口腔を構成する骨④</u> 口腔を構成する骨（口腔を構成する各骨の詳細、上顎骨・口蓋骨）	佐藤 匡	プロジェクター

7	<u>口腔を構成する骨⑤</u> 口腔を構成する骨（口腔を構成する各骨の詳細、 下顎骨・舌骨）、口腔に関連する機能の概略	佐藤 匡	プロジェクター
8	<u>頭部の結合・関節</u> 関節総論、頭部の結合・関節の詳細、 顎関節の構造および機能	佐藤 匡	プロジェクター
9	<u>頭頸部の筋と作用①</u> 筋の概説、頭頸部の筋（顔面筋（表情筋）、咀嚼筋①）、 頭頸部の筋の作用	佐藤 匡	プロジェクター
10	<u>頭頸部の筋と作用②</u> 頭頸部の筋（咀嚼筋②、舌筋、頸部の筋、顎下三角と オトガイ下三角、翼突下顎隙と翼突下顎縫線）	佐藤 匡	プロジェクター
11	<u>口腔付近に分布する脈管系①</u> 脈管系総論（頭頸部に分布する動脈系・静脈系）	佐藤 匡	プロジェクター
12	<u>口腔付近に分布する脈管系②</u> 口腔付近に分布する脈管系（動脈系、静脈系、リンパ系）	佐藤 匡	プロジェクター
13	<u>神経系①</u> 神経系総論、頭頸部の神経系	佐藤 匡	プロジェクター
14	<u>神経系②</u> 頭頸部の神経系とその支配	佐藤 匡	プロジェクター
	<u>試験</u>	佐藤 匡	
15	<u>試験解説・まとめ</u>	佐藤 匡	プロジェクター

歯牙解剖

担 当 者	原田 章生		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	尾花甚一 編：「最新歯型彫刻 理論と実際」（医歯薬出版） 藤田恒太郎 原著：「歯の解剖学」（金原出版）		
学習目標	歯科医療の基本となる口腔形態を理解するために、歯冠部ならびに歯根の形態を理解する。		
学習方略	講義、実技		
学習評価	レポート、実技試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>口腔解剖学総論 I</u>	原田 章生	プロジェクター
2	<u>口腔解剖学総論 II</u>	原田 章生	プロジェクター
3	<u>上顎右側中切歯</u> 講義と歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
4	<u>上顎右側中切歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
5	<u>上顎右側第一大臼歯</u> 講義と歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
6	<u>上顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
7	<u>上顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
8	<u>下顎右側第一大臼歯</u> 講義と歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
9	<u>下顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
10	<u>下顎右側第一大臼歯</u> 歯型彫刻	原田 章生	プロジェクター OHP
	<u>試験</u>	原田 章生 ／専任教員	

病理学・口腔病理学

担 当 者	瀧 瀬 衆 土 門 ひと美	
単 位	時 間 数	履 修 時 期
2	3 0	1 年 後 期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」(医歯薬出版)	
参 考 図 書	岩田隆子 監：「わかりやすい病理学」(南江堂) 高田隆、他 編：「新口腔病理学 第2版」(医歯薬出版)	
学 習 目 標	疾病についての基本的な考え方を修得し、顎口腔領域に発症する多彩な疾病についての理解を得る。	
学 習 方 略	教科書・プリントを使った講義	
学 習 評 価	筆記試験	

回 数	講 義 内 容 ・ 項 目	担 当 講 師	使 用 機 材
1	<u>概論：病因論、方法論</u> <u>総論：先天異常</u>	土 門 ひと美	教科書 プリント
2	<u>総論：循環障害</u>	土 門 ひと美	教科書 プリント
3	<u>総論：代謝障害</u>	土 門 ひと美	教科書 プリント
4	<u>総論：修復</u>	土 門 ひと美	教科書 プリント
5	<u>総論：炎症・免疫</u>	土 門 ひと美	教科書 プリント

6	<u>総論：腫瘍</u>	瀬瀬 衆	教科書 プリント
7	<u>口腔病理：歯の発育異常</u>	土門 ひと美	教科書 プリント
8	<u>口腔病理：齶蝕、歯髄・根尖部病変</u>	土門 ひと美	教科書 プリント
9	<u>口腔病理：辺縁性歯周組織病変</u>	土門 ひと美	教科書 プリント
10	<u>口腔病理：口腔粘膜病変</u>	土門 ひと美	教科書 プリント
11	<u>口腔病理：顎骨・顎関節病変</u>	瀬瀬 衆	教科書 プリント
12	<u>口腔病理：嚢胞・歯原性腫瘍</u>	瀬瀬 衆	教科書 プリント
13	<u>口腔病理：口腔腫瘍</u>	瀬瀬 衆	教科書 プリント
14	<u>口腔病理：唾液腺病変</u>	瀬瀬 衆	教科書 プリント
15	<u>口腔病理：顎口腔の発育異常</u>	土門 ひと美	教科書 プリント
	<u>試験</u>	瀬瀬 衆 土門 ひと美	

薬理学・歯科薬理学

担 当 者	若 森 実		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	3 0	1 年 後 期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書			
学 習 目 標	薬物が生体に対してどのように作用し、治療学的意義を持つのかについて、代表的な薬物を中心に基礎的な知識を修得する。		
学 習 方 略	講義。次回に確認小テストを行うので、復習をすること。生化学・生理学の知識を修得していると薬理学的理解が深まる。		
学 習 評 価	小テストと筆記試験で総合的に評価する。		

回 数	講 義 内 容 ・ 項 目	担 当 講 師	使 用 機 材
1	<u>総論Ⅰ(医療と薬物)</u> ・薬物療法の種類 ・薬理作用の様式 ・薬理作用の基本形式 ・薬理作用の分類 ・用量反応関係と薬用量の用語 ・薬理作用の機序 ・薬理の生体膜通過様式と通過に影響する因子	若 森 実	PowerPoint
2	<u>総論Ⅱ(身体と薬物①)</u> ・薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄・パラメーター)	若 森 実	PowerPoint
3	<u>総論Ⅲ(身体と薬物②)</u> ・薬物の適用方法 ・薬理作用に影響を与える因子(薬物の用量と作用・生体の感受性)	若 森 実	PowerPoint
4	<u>総論Ⅳ(身体と薬物③)</u> ・薬物の連用(蓄積・耐性・依存) ・薬物の併用による相互作用(協力作用・拮抗作用) ・薬物の副作用・有害作用	若 森 実	PowerPoint
5	<u>総論Ⅴ(身体と薬物④)</u> ・ライフステージと薬物(小児・高齢者・妊婦・有病者への薬物投与) ・服薬指導	若 森 実	PowerPoint
6	<u>総論Ⅴ(薬物の取扱い)</u> ・剤型、処方箋、保存方法 <u>総論Ⅵ(医薬品の分類)</u> ・薬機法、日本薬局方、毒物・劇物、麻薬・向精神薬・覚せい剤、医薬部外品・化粧品	若 森 実	PowerPoint

7	<u>ビタミン・ホルモン</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ビタミンの種類と欠乏症 ・ホルモン製剤 	若森 実	PowerPoint
8	<u>末梢神経系作用薬物</u> <ul style="list-style-type: none"> ・神経伝達物質 ・自律神経系作用薬 ・骨格筋弛緩薬 	若森 実	PowerPoint
9	<u>中枢神経系作用薬物</u> <ul style="list-style-type: none"> ・全身麻酔薬 ・催眠薬 ・向精神薬（抗精神病薬・抗不安薬・抗うつ薬・抗躁薬） ・抗けいれん薬（抗てんかん薬） ・抗パーキンソン病薬 ・中枢神経興奮薬 <u>循環と薬物</u> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器系作用薬 ・腎臓に作用する薬物 	若森 実	PowerPoint
10	<u>呼吸と薬物</u> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系作用薬 <u>消化器と薬物</u> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器系に作用する薬物 <u>血液と薬物</u> <ul style="list-style-type: none"> ・止血薬（局所性止血薬、全身性止血薬） ・抗血栓薬（抗凝固薬・抗血小板薬） ・抗貧血薬 <u>免疫と薬物</u> <u>代謝性疾患治療薬</u>	若森 実	PowerPoint
11	<u>抗炎症薬</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ステロイド性抗炎症薬 ・非ステロイド性抗炎症薬 ・抗ヒスタミン薬 <u>痛みと薬物</u> <ul style="list-style-type: none"> ・鎮痛薬（麻薬性鎮痛薬・非麻薬性鎮痛薬・解熱鎮痛薬） 	若森 実	PowerPoint
12	<u>局所麻酔薬</u> <ul style="list-style-type: none"> ・局所麻酔薬・血管収縮役の添加 <u>感染と薬物 I</u> <ul style="list-style-type: none"> ・抗感染症薬 	若森 実	PowerPoint
13	<u>感染と薬物 II</u> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒薬 <u>歯科用薬物 I</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯内療法薬 	若森 実	PowerPoint
14	<u>歯科用薬物 II</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患治療薬 ・口腔用薬 	若森 実	PowerPoint
	<u>試験</u>	若森 実	
15	<u>試験解説・まとめ</u>	若森 実	PowerPoint

微生物学・口腔微生物学

担 当 者	多田 浩之		
単 位	時 間 数	履 修 時 期	
2	30	1 年 後 期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 (MEDIC MEDIA) その他に適宜参考資料を使用		
学 習 目 標	微生物学は病原微生物の生態、微生物-宿主関係ならびに感染症を理解し、免疫学は病原微生物に対する免疫応答を理解することを目標とする。		
学 習 方 略	学習領域は広汎であるため、関連する領域をまとめた資料を用いる。 また、知識の定着と理解度を確認するため、単元毎に確認テストを行う。		
学 習 評 価	期末試験を中心に評価するが、平常点(出席と講義態度)も考慮する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>微生物の世界、病原微生物学の歴史</u> 微生物の分類・種類、細菌の形態・構造、 感染の成立・感染経路・感染の種類、微生物学の歴史	多田 浩之	プロジェクター
2	<u>微生物学：細菌学総論</u> 分類法、命名法、形態・構造、代謝・増殖、 病原因子、細菌培養法、グラム染色法	多田 浩之	プロジェクター
3	<u>微生物学：細菌学各論1</u> グラム陽性球菌(ブドウ球菌属・レンサ球菌属)、 グラム陽性桿菌(クロストリジウム属・マイコバクテリウム属・放線菌属)、グラム陰性球菌(ナイセリア属)、 グラム陰性桿菌(大腸菌・赤痢菌・サルモネラ属・ペスト菌)	多田 浩之	プロジェクター
4	<u>微生物学：細菌学各論2、ウイルス学総論</u> 歯周病関連細菌、マイコプラズマ、スピロヘータ、 リケッチア、クラミジア ウイルスの性状、構造、増殖	多田 浩之	プロジェクター
5	<u>微生物学：ウイルス学各論</u> ヘルペス、ピコルナ、MMR(ムンプス・麻疹・風疹)、 インフルエンザ、レトロ(HTLV・HIV)、肝炎ウイルス	多田 浩之	プロジェクター
6	<u>真菌・原虫学</u> カンジダ・アルビカンズ、口腔トリコモナス、 歯肉アメーバ <u>確認テスト1 微生物学</u> 試験	多田 浩之	プロジェクター

7	<u>確認テスト1 微生物学</u> 解説 <u>免疫学：概論</u> 免疫の特徴、免疫応答の種類、免疫関連臓器、 免疫担当細胞、サイトカイン <u>免疫学：自然免疫</u> 皮膚・粘膜のバリア機構、Toll-like receptor、補体	多田 浩之	プロジェクター
8	<u>免疫学：抗原提示</u> 抗原の構造、MHC、抗原提示 <u>免疫学：ワクチン、抗体</u> ワクチンの種類・特徴、抗体の構造、抗体の種類・性状	多田 浩之	プロジェクター
9	<u>免疫学：獲得免疫（体液性免疫）</u> B細胞の活性化、抗原抗体反応 <u>免疫学：獲得免疫（細胞性免疫）</u> T細胞の種類、T細胞の活性化、細胞性免疫の種類	多田 浩之	プロジェクター
10	<u>免疫学：アレルギー</u> アレルギーの種類、アレルギーの機序 <u>確認テスト2 免疫学</u> 試験	多田 浩之	プロジェクター
11	<u>確認テスト2 免疫学</u> 解説 <u>口腔微生物学：口腔の微生物</u> 口腔細菌叢、プラーク形成機序・成熟、歯石の形成	多田 浩之	プロジェクター
12	<u>口腔微生物学：う蝕、歯内感染症</u> う蝕の病像、う蝕病原性細菌、 ミュータンスレンサ球菌のう蝕病原性、歯内感染症 <u>口腔微生物学：歯周病、その他の口腔感染症</u> 歯周病の病状、歯周病原性細菌、唾液腺の感染症、顎骨 骨髓炎、放線菌症、口腔カンジダ症、ウイルス感染症、 誤嚥性肺炎、菌血症と心内膜炎、インプラント周囲炎	多田 浩之	プロジェクター
13	<u>化学療法</u> 化学療法、殺菌・静菌作用、化学療法薬の種類・特徴、 抗真菌薬、抗ウイルス薬、薬剤感受性試験、薬剤耐性 <u>感染対策（滅菌・消毒）</u> 口腔外感染症と院内感染対策、歯科臨床における 院内感染対策、標準予防策、滅菌・消毒、消毒法	多田 浩之	プロジェクター
14	<u>細菌学実習（講義）</u> <u>確認テスト3 口腔微生物学・化学療法・感染対策</u> 試験	多田 浩之	プロジェクター DVD プレーヤー
15	<u>確認テスト3 口腔微生物学・化学療法・感染対策</u> 解説 <u>総復習</u> 微生物学・免疫学・口腔微生物学・化学療法・感染対策	多田 浩之	プロジェクター
	<u>試験</u>	多田 浩之	

口腔衛生

担 当 者	丹田 奈緒子		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書			
学習目標	口腔の健康についての理解を深め、集団における口腔疾患予防能力、地域集団に対する疾病の予防能力を高めるために口腔保健に関する専門知識を習得すること。		
学習方略	講義		
学習評価	講義終了後に試験を行い、出席状況も併せて評価を行う。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>健康・予防医学の概念</u> <u>疫学</u> <u>人口</u>	丹田 奈緒子	
2	<u>健康と環境</u> <u>感染症</u> <u>食品と健康</u>	丹田 奈緒子	
3	<u>歯・口腔の健康</u> <u>口腔清掃</u>	丹田 奈緒子	
4	<u>歯科疾患の疫学</u> <u>う蝕の予防</u>	丹田 奈緒子	
5	<u>フッ化物によるう蝕予防</u> <u>歯周疾患の予防</u>	丹田 奈緒子	

6	<u>その他の疾患・異常の予防</u> <u>ライフステージごとの口腔保健管理</u>	丹田 奈緒子	
7	<u>地域保健・公衆衛生</u> <u>母子保健</u>	丹田 奈緒子	
8	<u>学校保健</u> <u>成人保健</u> <u>産業保健</u>	丹田 奈緒子	
9	<u>老人保健</u> <u>精神保健</u> <u>国際保健</u>	丹田 奈緒子	
10	<u>まとめ</u>	丹田 奈緒子	
	<u>試験</u>	丹田 奈緒子	

公衆歯科衛生・歯科衛生統計

担 当 者	瀬名 浩太郎 専任教員	
単 位	時間数	履修時期
2	30	1年後期
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」(医歯薬出版)	
参 考 図 書		
学習目標	歯科衛生活動に必要な保健医療情報の収集・理解および収集したデータの処理・解析方法を習得する。	
学習方略	教科書を中心に、スライドを使用しながら講義を行う。	
学習評価	講義・演習への参加態度。期末試験。	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>保健情報と保健統計 1</u> 保健情報・保健統計・保健情報の種類	瀬名 浩太郎	プロジェクター
2	<u>保健情報と保健統計 2</u> 国家統計調査	瀬名 浩太郎	プロジェクター
3	<u>保健情報と疫学 1</u> 疫学総論・健康障害の発生要因	瀬名 浩太郎	プロジェクター
4	<u>保健情報と疫学 2</u> 疫学の方法論 スクリーニング	瀬名 浩太郎	プロジェクター
5	<u>歯科疾患の指数 1</u> 数量化と指数・う蝕の指数	瀬名 浩太郎	プロジェクター

6	<u>歯科疾患の指数 2</u> 歯周疾患の指数	瀬名 浩太郎	プロジェクター
7	<u>歯科疾患の指数 3</u> 口腔清掃状態の指数・不正咬合と歯列不正の指数・ 歯のフッ素症指数・その他の歯科保健指標	瀬名 浩太郎	プロジェクター
8	<u>保健情報の分析手順</u> 保健情報の収集・調査・母集団と標本抽出	瀬名 浩太郎	プロジェクター
9	<u>保健統計の方法 1</u> データの特性・記述統計・推定と信頼区間	瀬名 浩太郎	プロジェクター
10	<u>保健統計の方法 2</u> 検定・保健情報の多変量解析・その他	瀬名 浩太郎	プロジェクター
11 12	<u>口腔観察法 I (講義・演習)</u> 口腔清掃の指数	専任教員	
13 14	<u>口腔観察法 II (講義・演習)</u> 歯周疾患の指数	専任教員	
15	<u>歯科保健指標</u> 咀嚼能力 摂食・嚥下障害のスクリーニングテスト	専任教員	
	<u>試験</u>	瀬名 浩太郎 ／専任教員	

衛生学・公衆衛生学

担 当 者	萩原 潤		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：「最新歯科衛生士教本 保健生態学」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	小山 洋、他 監：「シンプル衛生公衆衛生学」（南江堂） 厚生統計協会 編：「国民衛生の動向」（厚生統計協会）		
学習目標	公衆衛生とは疾病の予防、寿命の延長、生活の質の向上を目的とした社会的な活動とその根拠となる知識を指す。歯科衛生士は国民の公衆衛生の向上に寄与する役割がある。本講義では公衆衛生活動を行うため必要な知識である環境と人との関わり、疾病を予防するための社会の取り組みに関する知識の修得を目的とする。		
学習方略	教科書に沿って講義を行う		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>総論</u> 衛生学・公衆衛生学の概略と公衆衛生活動について解説し、特に重要な概念である健康と予防医学について解説する。	萩原 潤	
2	<u>疫学、人口</u> 疫学：疫学の概念と様々な疫学研究の方法を解説し、疫学研究によって得られた知見について紹介する。 人口：人口に関する指標の計算方法と数値の解釈について解説する。その上で、これまでの世界と日本の人口の推移や、現在の状態を示す。	萩原 潤	
3	<u>環境と健康</u> 環境が人間に与える影響について生活環境（大気、水、騒音など）ごとに解説する。さらに廃棄物処理、環境保全についての取り組みを解説し、地球環境問題にも言及する。	萩原 潤	

4	<u>感染症</u> 感染症の概念とその流行について解説し、わが国における感染症の流行予防の対策を解説する。さらに、主な感染症の発生状況についても解説する。	萩原 潤	
5	<u>食品と健康</u> 現代の日本人の栄養と生活習慣の状況を解説し、さらに食中毒の変遷、特定保健用食品や食品添加物に関する行政の取り組みを紹介する。	萩原 潤	
6	<u>地域保健・公衆衛生、母子保健</u> 地域保健・公衆衛生：地域保健の概念と日本において地域保健活動を行う行政組織について解説する。 母子保健：女性が妊娠してから出産するまでの母子保健、生まれた子どもが学校に入学するまでの小児保健について解説する。	萩原 潤	
7	<u>学校保健、成人保健</u> 学校保健：学校保健の意義と概要、日本における学校保健の体制、組織について述べる。 成人保健：わが国における成人保健の現状について解説する。この年齢層において重要な問題である生活習慣病について解説する。	萩原 潤	
8	<u>産業保健、老人（高齢者）保健</u> 産業保健：産業保健の概念とその特徴について解説し、職業性疾病の定義と内容を解説する。 老人保健：高齢者に特有な健康障害と、社会環境について解説する。	萩原 潤	
9	<u>精神保健、災害時の歯科保健</u> 精神保健：精神障害の分類と精神保健に関わる社会の取り組みについて紹介する。 災害時の歯科保健：大規模災害時の歯科保健について紹介する。	萩原 潤	
	<u>筆記試験</u>	萩原 潤	
10	<u>まとめ：試験問題の解説</u>	萩原 潤	

歯科衛生士概論

担 当 者	入野田 昌史 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	1年前・後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学総論」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：「最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版」(医歯薬出版) 下野正基 監：「歯科衛生ケアプロセス」(医歯薬出版)		
学習目標	歯科医学における臨床の概要を教え、歯科衛生士としての基礎となる知識と 歯科医療の基本を与えることを目的とする。 対人援助職である歯科衛生士に求められる基本的態度を理解し、歯科衛生業 務を実践する上で必要な知識および論理的思考の基礎を修得する。		
学習方略	1) 講義 2) スモールグループ討議		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>医の倫理と歯科疾患の概要及び歯科診療の流れ</u> 歯の役割と口腔機能の重要性、医療従事者としての 倫理と心構え、歯科診療の基本的流れ、患者への対応	入野田 昌史	プロジェクター
2	<u>歯科診療の基礎①</u> 歯科保存治療の概要 (保存修復、歯内療法、歯周治療) 歯科補綴治療の概要 (有床義歯、クラウン・ブリッジ)	入野田 昌史	プロジェクター
3	<u>歯科診療の基礎②</u> 小児歯科治療、矯正歯科治療、口腔外科治療の概要 障害者歯科、訪問歯科診療、救急医療について	入野田 昌史	プロジェクター
4	<u>歯科診療補助とその他</u> 消毒と滅菌、X線の取り扱い、予防処置、口腔衛生、 診療補助の役割と重要性について	入野田 昌史	プロジェクター
5	<u>医科歯科連携及び多職種との医療連携について</u> 感染対策と歯科治療、がん患者及び骨髄移植患者の 周術期口腔機能管理、糖尿病と歯周病、医療連携	入野田 昌史	プロジェクター

6	<u>歯科衛生士とは</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の活動の場 ・ 歯科衛生の歴史 	教務主任	プロジェクター
7 8	<u>歯科衛生活動の実際</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士に求められる役割（演習・発表） ・ 商業誌からの情報収集と吟味 	教務主任	プロジェクター
9	<u>歯科衛生士法と歯科衛生業務</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生業務の法的性格 ・ プロフェッショナリズム ・ 医療安全 	教務主任	プロジェクター
10	<u>歯科衛生過程</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生過程とは ・ 歯科衛生過程の具体的な流れ 	教務主任	プロジェクター
11	<u>医療倫理</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理とは ・ 患者の権利 ・ 自己決定権の尊重 	教務主任	プロジェクター
12	<u>歯科衛生士の活動と組織</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生に関わる法律と制度 ・ 専門職と組織 	教務主任	プロジェクター
13	<u>海外における歯科衛生士</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国における歯科衛生士の業務 ・ 国際歯科衛生士連盟（IFDH） 	教務主任	プロジェクター
14	<u>多職種連携とチーム医療</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムの中の歯科衛生士 ・ 求められる技術と態度 	教務主任	プロジェクター
15	<u>歯科衛生士に求められる役割と責務</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ スモールグループ討議 ・ 発表と総括 	教務主任	プロジェクター
	<u>試験</u>	入野田 昌史 教務主任	

保存修復学

担 当 者	鎌野 優弥		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	1年後期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	田上順次・千田彰・奈良陽一郎・桃井保子 編：「改訂版 保存修復学 2 1」(永末出版) 平井義人・寺中敏夫、他 編：「保存修復学 第5版」(医歯薬出版)		
学習目標	保存修復学の概要を教え、歯牙硬組織疾患の診査・診断、治療の手順について理解する。		
学習方略	図、写真、ビデオを用いた講義		
学習評価	試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯の保存療法の種類と口腔診査</u> 歯の保存療法と歯科保存学・対象となる疾患 基礎知識と前準備・問診・現症の診査	鎌野 優弥	プロジェクター
2	<u>保存修復学の意味と概要①</u> 硬組織疾患ないし発育異常の種類と処置法 適応症と禁忌症、う蝕について	鎌野 優弥	プロジェクター
3	<u>窩洞の分類と名称</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
4	<u>保存修復学の意味と概要②</u> 処置ステップの流れと概要	鎌野 優弥	プロジェクター
5	<u>保存修復学の意味と概要③</u> 切削用器具・歯髄保護・欠損修復とその種類	鎌野 優弥	プロジェクター

6	<u>アマルガム修復・漂白</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
7	<u>コンポジットレジン修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
8	<u>セメント修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
9	<u>鑄造修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
10	<u>ポーセレンインレー、レジニンレー ラミネートベニア修復</u>	鎌野 優弥	プロジェクター
	<u>試験</u>	鎌野 優弥	

口腔保健学

(口腔疾患予防処置法Ⅰ・保健指導法Ⅰ・歯科診療補助法Ⅰ)

担 当 者	専任教員／特別講師（歯科医師、歯科衛生士、他）		
	単位	時間	履修時期
口腔疾患予防処置法Ⅰ	4	160時間	1年
保健指導法Ⅰ	3	120時間	1年
歯科診療補助法Ⅰ	3	122時間	1年
教 科 書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」／「歯科診療補助論」（医歯薬出版） ／「歯科機器」「歯科材料」（医歯薬出版）／最新歯科衛生士教本「歯科医療倫理」（医歯薬出版）／「歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド」（医歯薬出版） ／「人体の構造と機能2 栄養と代謝」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	「標準歯周病学」（医学書院）／「ペリオドンタルインスツルメンテーション」（医歯薬出版）／「口腔ケア健康ガイド」（学建書院）／「歯科保健指導ハンドブック」（医歯薬出版）／「喫煙と健康」（厚生労働省）／「デンタルプラーク細菌」（医歯薬出版）／「Dental Hygiene Theory and Practice 2 nd ed.」（WB Saunders）／歯ブラシ事典（学建書院）他		
一般目標（GIO）	対象となる個人、集団のニーズに応じた適切な歯科衛生行動をとるために、問題解決能力を高め、専門的な支援の実践につながる知識、技術、態度を修得する		
行動目標（SBOs）	<ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者から信頼を得られるような配慮を行う 2) 清潔不潔の概念を理解し、器具の滅菌、消毒や診療室の清掃を行う 3) 歯科治療時に必要な器械、材料の準備を行う 4) 対象となる組織の健康像を説明する 5) う蝕の発症と進行および予防について説明する 6) 歯科衛生ケアプロセスの概要を説明する 7) クリティカル思考の重要性について説明する 		
学習方略（LS）	講義・演習・実習・グループ討議、およびシミュレーション実習		
学習評価（EV）	形成的評価 チェックリスト、観察記録、簡略化 OSCE、プレ・ポストテスト 総括的評価 前・後期末試験 基礎知識客観試験、口頭試問、レポート		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>口腔保健学の概要 講義</u> ・口腔保健学とは	専任教員	
2 3 4	<u>口腔保健学の概要 (1、2年合同実習①) 演習</u> ・合同実習オリエンテーション (体験実習) アセスメント ・患者誘導、問診、口腔内概診 ・口腔内写真撮影および資料の取り扱いと管理 ・プラークスコア、う蝕活動性試験 実施 (歯科衛生介入) ・TBI、フッ化物応用 ・栄養指導 評価 ・実施内容の評価と記録	専任教員	
5	① <u>診</u> : <u>歯科診療補助 総論 講義</u> ・歯科診療補助の概要	専任教員	
6 7 8	① <u>診</u> : <u>医療安全と感染予防 講義・実習</u> ・手指消毒 ・滅菌と消毒 ・医療廃棄物の取扱い	専任教員	
9	① <u>診</u> : <u>歯科診療室における共同動作 講義</u> ・歯科診療室の基礎知識 ・共同動作の基本 ・共同動作の方法	専任教員	
10 11	① <u>診</u> : <u>一般診療用器械・ユニット操作 講義・実習</u> ・歯科診療補助の意味 ・診療室の管理、資料の整理 ・使用する主な歯科器械類 ・歯科用ユニット操作	専任教員	
12 13	① <u>診</u> : <u>患者誘導 講義・演習</u> ・接遇・患者誘導の方法	専任教員	
14 15	① <u>診</u> : <u>口腔内洗浄 講義・実習</u> ・歯科用ユニットの操作、ライティング、スリーウェィ シリンジの操作、バキュームの操作 ・メンテナンス	専任教員	
16 17	① <u>診</u> : <u>衛生用品作成 講義・演習</u> ・綿球、カット綿、ロールワッテ、小折ガーゼ、ブローチ綿 花の用途 ・作製方法	専任教員	
18 19	① <u>診</u> : <u>歯科診療前準備、歯科診療記録 講義・演習</u> ・診療室の準備、受付業務 問診、カルテ、歯科用略語、口腔内概診の記録	専任教員	

20	<p>⑦：歯科予防処置 総論 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科予防処置の概要 ・歯科予防処置と歯科衛生士の役割 	専任教員	
21	<p>⑦：歯周疾患予防の基礎 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる組織の健康像 ・歯周疾患の発症と進行 ・歯周疾患予防の考え方と予防手段 ・リスクと診査 	専任教員	
22	<p>⑧：歯科保健指導 総論 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健指導とは ・行動変容 	専任教員	
	<p>歯科臨床見学実習 事前準備・まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・反省会、実習報告会 	専任教員	
23	<p>⑧：プラークコントロールの意義 講義① (小学校実習前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の付着物 ・プラークコントロールの方法 	専任教員	
24	<p>⑧：口腔清掃自習法 演習 (小学校実習前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内概要自己判断 	専任教員	
25 26	<p>⑧：口腔清掃用具の検討① 講義・演習 (小学校実習前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種歯ブラシの特徴 ・各種歯ブラシの種類 	専任教員	
27 28	<p>⑧：各種ブラッシング法検討実習 講義・演習 (小学校実習前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛先を使う方法 ・毛の脇腹を使う方法 	専任教員	
29 30	<p>⑧：口腔清掃法① 実習 (小学校実習前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種歯ブラシ 	専任教員	
31 ～ 39	<p>各現場活動における口腔衛生指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校口腔衛生指導実習 ・指導案作製、準備、リハーサル 	専任教員	
40 41	<p>⑧：口腔観察法①－1 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔の付着物の観察、記録の作成 ・舌、粘膜の観察 	専任教員	
42 43	<p>⑧：口腔観察法①－2 講義・実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯肉の観察 ・染出し 	専任教員	
44 45	<p>⑧：口腔観察法② 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔清掃の指数 (オレリーのPCR) 	専任教員	
46 47	<p>⑧：口腔清掃用具の検討② 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種清掃補助器具 (デンタルフロス、歯間ブラシ、ワンタフトブラシ、 舌ブラシ等) ・各種清掃補助器具の為害作用 	専任教員	

48 49	<u>保</u> ：口腔清掃法② 実習 <ul style="list-style-type: none"> ・デンタルフロス ・ワンタフト 	専任教員	
50 51	<u>保</u> ：口腔清掃用具の検討③ 講義 <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨剤の効果、主な作用 ・歯磨剤の所要条件 ・歯磨剤の分類 ・歯磨剤の為害作用 	専任教員	
52	<u>喫煙について 講義</u> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の及ぼす影響 ・グループワーク 	特別講師 ／専任教員	
53 54	<u>診</u> ： <u>模型材の取扱い 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科用石こうの取扱い ・スタディモデルの意義と目的 	専任教員	
55 56	<u>診</u> ： <u>印象材の取扱い① 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・アルジネート印象材の取扱い ・アルジネート印象材の練和（手練り） 	専任教員	
57 58	<u>診</u> ： <u>概形印象採得① 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・下顎概形印象採得 	専任教員	
59 60	<u>診</u> ： <u>概形印象採得② 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・上顎概形印象採得 	専任教員	
61 62	<u>診</u> ： <u>印象材の取扱い② 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・アルジネート印象材の取扱い ・アルジネート印象材の練和（器械練り） 	専任教員	
63 64	<u>診</u> ： <u>概形印象採得～スタディモデルの作製① 実習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・下顎概形印象採得 ・石こう注入、下顎模型作製 	専任教員	
65 66	<u>診</u> ： <u>概形印象採得～スタディモデルの作製② 実習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・既製トレーの選択、試適、補正 ・上顎概形印象採得 ・石こう注入、上顎模型作製 	専任教員	
67	<u>予</u> ： <u>使用器材の名称と使用目的 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・診査用器具 ・各種スケーラー ・基本セットの取り扱い 	専任教員	
68 69	<u>予</u> ： <u>歯周検査の必要性① 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周組織検査の方法 ・操作方法、基本姿勢 ・プロービング操作 	専任教員	
70 71	<u>予</u> ： <u>歯周検査の必要性② 実習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・プロービング 上顎3-3の操作法 	専任教員	

72	⑦：歯周検査の必要性③ 実習 ・プロービング 下顎 3-3の操作法	専任教員	
73			
74	⑦：歯周検査の必要性④ 実習 ・プロービング 下顎 左右 4-7の操作法	専任教員	
75			
76	⑦：歯周検査の必要性⑤ 実習 ・プロービング 上顎 左右 4-7の操作法	専任教員	
77			
78	⑧：口腔清掃法③ 実習 ・ブラッシングテクニック（100%みがき）	専任教員	
79	⑧：口腔清掃法④ 実習 ・ブラッシングテクニック（術者みがき）	専任教員	
80			
81	⑧：口腔清掃用具の検討④ 講義・演習 ・電動歯ブラシの種類 ・電動歯ブラシの有害作用 グループワーク	専任教員	
82			
83	音波・超音波歯ブラシ セミナー	特別講師	
84			
85	⑦：歯面研磨の必要性① 講義・演習 ・目的、使用器材と操作方法 ・偶発事故の防止	専任教員	
86			
87	⑦：歯面研磨の必要性② 実習 ・口腔内概診、染出し、歯面研磨（下顎）	専任教員	
88			
89	⑦：歯面研磨の必要性③ 実習 ・口腔内概診、染出し、歯面研磨（上顎）	専任教員	
90			
91	⑦：超音波・エアスケーラーの基本操作法① 講義・演習 ・超音波スケーラーの特徴、使用方法 ・エアスケーラーの特徴、使用方法 ・感染対策 ・超音波スケーラーでの人工歯石除去と観察	専任教員	
92			
93	⑦：超音波スケーラーの基本操作法② 実習 ・口腔内概診、染出し、超音波スケーリング（上顎）	専任教員	
94			
95	⑦：超音波スケーラーの基本操作法③ 実習 ・口腔内概診、染出し、超音波スケーリング（下顎）	専任教員	
96			
97	⑦：鎌型スケーラーの基本操作法 講義 ・目的、操作方法、基本姿勢 ・鎌型スケーラー操作法、各種運動	専任教員	
98	⑦：鎌型スケーラーの基本操作法 演習① ・基本訓練（各種運動） ・上顎 3-3の操作法	専任教員	

99	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種運動（各種運動） ・下顎3-3の操作法 	専任教員	
100 101	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習①</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内概診、下顎3-3の操作法 	専任教員	
102 103	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習②</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内概診、上顎3-3の操作法 	専任教員	
104	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習③</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種運動（各種運動） ・右下4-7の操作法 	専任教員	
105	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習④</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種運動（各種運動） ・右上4-7の操作法 	専任教員	
106	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習⑤</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種運動（各種運動） ・左下4-7の操作法 	専任教員	
107	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 演習⑥</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種運動（各種運動） ・左上4-7の操作法 	専任教員	
108 109	<p>⑦：<u>シャープニングの必要性～ 鎌型スケーラー 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、使用器材、操作方法 	専任教員	
110 111	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習③</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内概診、右下4-7の操作法 	専任教員	
112 113	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習④</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内概診、右上4-7の操作法 	専任教員	
114 115	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習⑤</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内概診、左下4-7の操作法 	専任教員	
116 117	<p>⑦：<u>鎌型スケーラーの基本操作法 実習⑥</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔内概診、左上4-7の操作法 	専任教員	
118 119	<p>⑦：<u>復習実習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケーリング ・シャープニング 	専任教員	
120 121	<p>⑧：<u>印象材の取扱い③ 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒天印象材の取扱い ・寒天、アルジネート連合印象採得（Ⅰ級窩洞） 	専任教員	
122 123	<p>⑧：<u>印象材の取扱い④ 講義・演習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成ゴム質（エラストマー）印象材の取扱い ・シリコーンゴム印象材（付加型）による精密印象採得（2回法）（Ⅱ級窩洞） ・歯肉圧排法 	専任教員	

124 125	<p>②：精密印象 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> シリコーンゴム印象材（付加型）による精密印象採得（2回法） 歯肉圧排、対合歯印象採得、咬合採得 	専任教員	
126	<p>②：仮着材の取扱い 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮着材の種類、特徴、取扱い 	専任教員	
127 128	<p>②：合着材および接着材の取扱い 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯科用セメントの種類、特徴、取扱い 	専任教員	
129 130	<p>②：仮封材の取扱い 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮封材の種類、特徴、取扱い 	専任教員	
131 132	<p>②：成形歯冠修復材の取扱い① 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 成形歯冠修復材の種類 ガラスアイオノマーセメントの取扱い ガラスアイオノマーセメント修復（術式、器具器材の名称、取扱い） ガラスアイオノマーセメント（Ⅴ級窩洞）充填 	専任教員	
133 134	<p>②：成形歯冠修復材の取扱い② 講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> コンポジットレジン コンポジットレジン修復（術式、器具器材の名称、取扱い） コンポジットレジン（Ⅲ級窩洞）充填 	専任教員	
135 136	<p>③：保健指導の実際① 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> 症例検討① 	専任教員	
137 138	<p>総合実習（模擬患者実習①）（アシスタント補助） アセスメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連 QOL モデルの応用 う蝕活動性試験 情報収集、処理 <p>歯科衛生診断、計画立案</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） <p>実施（歯科衛生介入）</p> <ul style="list-style-type: none"> T B I、歯面研磨・フッ化物応用 栄養指導、禁煙指導 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容の評価、業務記録の作成、歯科衛生ケアプロセスの展開 	専任教員 ／特別講師	
139 140	<p>総合実習（模擬患者実習①） 症例検討（プレゼンテーション）</p>	専任教員	
141 ～ 144	<p>食生活指導 ～栄養指導～</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養指導の基礎 日本人の食事摂取基準 2020 年版の基本と実際 栄養指導の実際 成人期、高齢期における栄養 	佐々木裕子	

145 146	⑥：問診からの聞き取り ・情報収集と医療面接	専任教員	
147 148	⑥：復習実習 ・ブラッシングテクニック（術者みがき）	専任教員	
149 150	⑦：う蝕予防の基礎 講義 ・対象となる組織 ・病因と病態論 ・う蝕の発症と進行 ・う蝕予防の考え方と予防手段 ・リスクと診査	専任教員	
151 152 153	⑦：う蝕活動性試験 講義・演習 ・目的、種類、方法、評価	専任教員	
154 155	⑦：フッ素洗口法、フッ化ジアミン銀塗布法 講義・演習 ・目的、方法、患者指導 ・集団応用	専任教員	
156 157	⑦：フッ化物歯面塗布法 演習 ・目的、方法、安全性の配慮、患者指導	専任教員	
158 159 160	⑦：フッ化物歯面塗布法 実習（綿球塗布法） ・目的、方法、安全性の配慮、患者指導	専任教員	
161 162	⑦：フッ化物歯面塗布法 実習（トレー法） ・目的、方法、安全性の配慮、患者指導	専任教員	
163 164	⑧：簡易防湿、完全防湿 講義・演習 ・ラバーダム防湿の術式、使用器具器材の名称、取扱い	専任教員	
165 166	⑦：小窩裂溝填塞法 講義・演習 ・目的、種類、方法、患者指導	専任教員	
167 168 169	⑦：小窩裂溝填塞法 実習 ・小児のう蝕予防 ラバーダム防湿の術式手順、使用器具器材の取扱い 小窩裂溝填塞の術式手順、使用器具器材の取扱い	専任教員	
170 171	⑧：小外科手術時の器材の取扱い 講義・演習 ・小外科手術時の器材の取扱い ・局所麻酔薬、替刃メス、縫合用器材の準備と取扱い ・歯肉包帯材の取扱い ・外科治療、痛みに対する処置、術後指導	専任教員	
172 173	⑧：歯科診療中における主な事故とその対策 講義・演習 ・主な事故とその対策 ・救急蘇生法 一次救命処置、過換気症候群の対応、歯科用ユニットでの体位 ・バイタルサイン	専任教員	

174 ～ 177	②：口腔内写真撮影法 講義・実習 ・口腔内カメラの取扱い、5枚法の撮影方法	専任教員	
178	②：口腔内写真撮影 情報処理 ・口腔内写真データ処理	専任教員	
179	③：プラークコントロールの意義 講義② ・プラークが及ぼす口腔内の影響 ・プラークコントロールの方法 ロールプレイにて患者説明	専任教員	
180 181 182	④：復習実習 歯周基本治療の相互実習 ・PD ・スケーリング（超音波スケーラー、鎌型スケーラー） ・歯面研磨	専任教員	
183 184	②：コミュニケーショントレーニング ・接遇、患者誘導	専任教員	
185 186	簡略化OSCE ～1年次～	専任教員	
187 188	③：対象別指導法 ～学童期～ 講義 ・学童期（低学年）の歯科保健行動 ・学童期（中学年）の歯科保健行動 ・学童期（高学年）の歯科保健行動	専任教員	
189 ～ 194	③：対象別指導法 ～学童期～ 講義・演習 ・小学校実習の概要 ・指導案の作成 ・学校歯科保健の概要 ・歯科保健指導と授業の考え方 ・集団指導と教材資料	専任教員 ／特別講師	
195	③：小集団指導法① 演習 ・発声、朗読法	専任教員	
196 ～ 201	②④③：総合実習 ・概形印象採得 ・PCR ・歯面研磨、バキュームテクニック	専任教員	
	歯科臨床見学実習 事前準備・まとめ ・オリエンテーション ・反省会、実習報告会	専任教員	
	期末試験 ・筆記 ・実技	専任教員	

口腔保健学 ～歯科衛生ケアプロセスⅠ～

担 当 者	宮城高等歯科衛生士学院 教務主任		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	1年後期	
教 科 書	佐藤陽子、齋藤 淳 編著「歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	Darby ML, Wash MM. 「Dental Hygiene Theory and Practice. 4th ed.」 (W.B.Saunders)		
一般目標 (GIO)	対象者のニーズに応じた歯科衛生ケアを意図的に、科学的に実施するために、 歯科衛生ケアプロセスの基本的知識・技術・態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	1) 問題解決の思考について説明する 2) 収集した情報の処理を行う 3) 情報から問題を明確にする 4) 問題を引き起こす原因について考察する 5) 問題解決のための方法をディスカッションする		
学習方略 (LS)	講義・演習・スモールグループ討議		
学習評価 (EV)	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯科衛生ケアプロセスの概要</u> ・ 歯科衛生ケアプロセスの必要性 ・ 歯科衛生ケアプロセスの構成要素	教務主任	プロジェクター
2	<u>アセスメント1</u> ・ 情報の種類と記録 ・ 情報の処理	教務主任	プロジェクター
3	<u>アセスメント2</u> ・ 情報からの臨床推論 ・ 保健行動の理論や概念モデルへの応用	教務主任	プロジェクター
4	<u>歯科衛生診断</u> ・ 歯科衛生診断、問題の明確化 ・ 歯科衛生診断文の書き方	教務主任	プロジェクター

5	<u>計画立案</u> <ul style="list-style-type: none"> ・計画立案の考え方 ・目標と期待される効果 	教務主任	プロジェクター
6	<u>実施</u> <ul style="list-style-type: none"> ・優先順位の検討 ・歯科衛生業務記録の記載 	教務主任	プロジェクター
7	<u>評価</u> <ul style="list-style-type: none"> ・評価の目的と基準 ・達成度の評価 	教務主任	プロジェクター
8	<u>模擬症例の展開</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーペイシエントを対象とした展開 	教務主任	プロジェクター
	<u>試験</u>	教務主任	

看護学 I

担 当 者	渡邊 生恵		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	1年後期	
教 科 書	講義時に資料配付		
参 考 図 書	講義中に随時紹介		
学習目標	看護における援助のプロセス・方法を学び、医療職者に共通する問題解決過程、観察、安全管理について理解する。		
学習方略	講義、演習		
学習評価	試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>看護とは①</u> 歯科衛生士とともに働くことの多い看護職（看護師・助産師・保健師）について、その役割と対象者について学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
2	<u>情報収集と観察①</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	渡邊 生恵	体温計
3	<u>情報収集と観察②</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	渡邊 生恵	聴診器、血圧計
4	<u>情報収集と観察③</u> (演習)バイタルサイン（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定を通して、対象者の観察の重要性とその方法を学びます。	渡邊 生恵	体温計、聴診器、 血圧計
5	<u>看護とは②</u> 看護における問題解決過程を通して、歯科衛生ケアプロセスとの共通点・違いについて学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
6	<u>安全①</u> 医療事故はなぜ起こるのか？対象者の安全を守るためにヒューマンエラーと安全管理について学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター
7	<u>安全②</u> 様々な感染症からどのように対象者と自分自身を守るのか？感染予防のためのスタンダード・プリコーションについて学びます。	渡邊 生恵	PC プロジェクター

	<u>試験</u>	渡邊 生恵	
8	<u>試験解説・まとめ</u>	渡邊 生恵	PC プロジェクター

研究 I

担 当 者	宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 専任教員	
単 位	時間数	履修時期
1	20	1年後期
教 科 書	指定なし	
参 考 図 書	日本歯科衛生学会監修：「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第3版」 (医歯薬出版) 谷口英喜著：「はじめてとりくむ研究発表・論文作成」(医歯薬出版)	
一般目標 (GIO)	科学的根拠に基づいた歯科衛生行動をとるために、歯科衛生、歯科臨床に関する課題を自ら見出し、研究を行い、論文として作成するための基本的な知識、技術、態度を修得する	
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究における意義を説明する 2. 研究の種類と手順について説明する 3. 研究に関連した文献を収集・吟味する 	
学習方略 (LS)	講義・演習	
学習評価 (EV)	出席状況・提出物	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯科衛生士の臨床と研究</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士が研究に取り組む意義 ・ 研究の種類 ・ 研究実施の基本的なステップ 	教務主任	プロジェクター
2	<u>文献検索</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文献検索の目的と種類 ・ 論文の構成と読み方 ・ 文献検索の方法 ・ 情報の吟味と批判的思考 ・ 文献の整理方法 	教務主任	プロジェクター コンピュータ
3	<u>研究テーマの決定と計画の立案</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画書を作成する意義 ・ 研究倫理と利益相反 ・ 質問紙調査の検討 	教務主任	プロジェクター コンピュータ
4	<u>質問紙調査の実施と集計 (演習)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先行研究の確認 ・ 書きやすい調査票の工夫 	教務主任	プロジェクター コンピュータ

5 ～ 9	<u>質問紙調査の実施と集計</u>	教務主任	プロジェクター コンピュータ
10	<u>研究発表 (プレゼンテーション)</u>	教務主任 専任教員	プロジェクター コンピュータ

第 2 学 年

令和 5 年度入学生（ 第 5 4 回生 ）

令和5年度入学生（第54回生）教育課程

教育内容	該当科目		単位数	時間数	第1学年		第2学年		第3学年	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野			10	160						
科学的思考の基盤・人間と生活	自然科学・人文科学・社会学	化学	1	15	●					
		生物学の基礎	1	15	●					
		数学統計の基礎	1	15			●			
		社会倫理学	1	15			●			
	外国語	情報科学	1	20	●					
		実践英語	1	15	●					
		歯科英語	1	15			●			
コミュニケーション学	行動科学	1	20						●	
心理学	2	30	●	●						
専門基礎分野			22	355						
人体の構造と機能	人体構造学	解剖学	2	30	●					
		組織・発生学	1	20		●				
	人体機能学（生理学）	2	30		●					
歯・口腔の構造と機能	生体物質・口腔の化学（生化学）		1	20	●					
	口腔構造学	口腔解剖学	2	30	●	●				
		歯牙解剖	1	20	●					
疾病の成り立ちと回復過程の促進	病理学・口腔病理学		2	30		●				
	薬理学・歯科薬理学		2	30		●				
	微生物学・口腔微生物学		2	30		●				
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	口腔衛生	1	20	●					
		公衆歯科衛生・歯科衛生統計	2	30		●				
	衛生学・公衆衛生学		1	20	●					
	カリオロジー学		1	15					●	
	衛生行政・社会福祉		2	30			●			
専門分野			64	2255						
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論		2	30	●	●				
	歯・歯髄疾患論	保存修復学	1	20		●				
歯内療法学		2	30			●				
歯周疾患論	歯周療法学Ⅰ		2	30			●			
	歯周療法学Ⅱ		2	40					●	
	歯科補綴学Ⅰ		1	15			●			
臨床歯科医学	咀嚼障害・咬合異常論	歯科補綴学Ⅱ	1	15			●			
		歯科矯正学	1	15			●			
		顎口腔疾患論	1	20			●			
小児歯科学		1	20			●				
障がい者・高齢者歯科学		1	20			●				
予防処置論	口腔疾患予防処置法	Ⅰ	4	160	●	●				
		Ⅱ	2	80			●	●		
		Ⅲ	2	80					●	●
歯科保健指導論	口腔保健学	保健指導法Ⅰ（含 栄養指導）	3	120	●	●				
		保健指導法Ⅱ	2	80			●	●		
		保健指導法Ⅲ（含 関連医学）	2	80					●	●
		歯科衛生ケアプロセスⅠ	1	15			●			
		歯科衛生ケアプロセスⅡ	1	15			●			
歯科診療補助論	口腔診療補助法	Ⅰ	3	120	●	●				
		Ⅱ（含 歯科材料、歯科放射線学、介護技術）	3	120			●	●		
		Ⅲ	3	120					●	●
		感染予防学	1	15			●			
		臨床検査法	1	20			●			
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習Ⅰ		2	90	●	●				
	臨地・臨床実習Ⅱ		8	360			●	●		
	臨地・臨床実習Ⅲ		11	495					●	●
必修隣接分野			15	359						
総合科目（健康と教養）	看護学Ⅰ		1	15			●			
	看護学Ⅱ		1	15						●
	摂食・咀嚼・嚥下指導		2	40					●	●
	病院管理学（社会保険・請求事務、歯科マネージメント）		1	15						●
	総合歯学		5	104						●
研究	海外研修		2	90			●	●		
	研究	Ⅰ	1	20		●				
		Ⅱ	1	30			●	●		
		Ⅲ	1	30					●	●
総計		111	3099	470	525	550	500	620	434	
				995		1050		1054		

数学統計の基礎

担 当 者	黒川 修行		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	市原清志 編：「バイオサイエンスの統計学」(南江堂) 向後千春、他 著：「統計学がわかる」(技術評論社)		
学習目標	統計とは現象の法則性を探究するために発生した方法論であり、これを利用することで様々な意志決定がなされている。本講義では統計学の理論的な枠組みの解説を行い、データの取得から初歩的な統計的手法を学習する。		
学習方略	講義とコンピュータを用いた解析実習を行う。		
学習評価	レポート課題およびテストによる評価を行う。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>統計学とデータ、確率、統計学的推測の基礎</u> 統計学の歴史と、データに対する考え方である母集団と標本について解説する。また、統計学において重要な概念である推測統計の考え方について解説する。	黒川 修行	
2	<u>データとはなにか</u> データの性格、誤差、種類などについて解説する。 また、データ取得後に行われるデータ要約にあたっての基本統計について解説する。	黒川 修行	
3	<u>基本的なデータの解析</u> データ取得後に行われるデータ要約にあたっての基本統計量について例題などを用いて、実際に解析を行う。	黒川 修行	計算機
4	<u>データの関係性に関する分析</u> 2つのカテゴリ変数を組み合わせた分割表の作成と、その検定の方法について具体例を挙げて解説する。 また、2つの連続変数の関係性を見る相関関係、回帰分析について、例を挙げながら、解説する。	黒川 修行	計算機 コンピュータ

5	<u>二群の比較</u> 2つの群の比較についての検定方法について、具体例を挙げて解説する。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
6	<u>三群以上の比較に関する検定</u> 3つの群以上の比較についての検定方法（主に分散分析）について、具体例を挙げて解説および演習を行う。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
7	<u>総合演習（1）</u> これまでの解説および実施してきた演習内容について、実際に表計算ソフトなどを用いて演習を行う。 1年時に実施したアンケート結果を解析してみる（演習）データの分析、分析結果をまとめて考察する。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
8	<u>総合演習（2）</u> これまでの解説および実施してきた演習内容について、実際に表計算ソフトなどを用いて演習を行う。 1年時に実施したアンケート結果を解析してみる（演習）データの分析、分析結果をまとめて考察する。	黒川 修行	計算機 コンピュータ
	<u>試験</u>	黒川 修行	計算機

社会倫理学

担 当 者	矢内 諭 齋藤 直樹		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	2年前期	
教 科 書	教科書は使用しない。必要な資料を講義時に配付する。		
参 考 図 書	講義内で適時紹介する。		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の問題、現代に生きる私達の責任、権利、義務、倫理について考える ・先端医療技術にまつわる倫理的な問題に対する思考力を養う。 		
学習方略	<ul style="list-style-type: none"> ・課題毎に講義し、レポートの作成、発表を課する。 ・講義形式で実施する。 		
学習評価	出席・授業態度・レポート・発表・試験の成績による		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>私達の生き方ー日本人についてー</u> 自由・平等観、伝統的死生観、生活習俗	矢内 諭	
2	<u>家族の変化 少子・高齢化の中の生き方</u>	矢内 諭	
3	<u>食料自給率の低下と消費生活・農業、農村について</u>	矢内 諭	
4	<u>DV等人権問題について</u>	矢内 諭	
5	<u>生命倫理学の基礎概念とその代表的な問題</u>	齋藤 直樹	パワーポイント
6	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（1）</u> ー「生殖補助医療技術」（ART）をめぐる問題	齋藤 直樹	パワーポイント
7	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（2）</u> ー「クローン技術」をめぐる問題	齋藤 直樹	パワーポイント
8	<u>先端医療技術にまつわる倫理的問題（3）</u> ー「臓器移植」と「脳死」をめぐる問題	齋藤 直樹	パワーポイント
	<u>試験</u>	矢内 諭 齋藤 直樹	

歯科英語

担 当 者	丹田 奈緒子		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科英語」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	Periodontal Instrumentation / Anna Matsuishi Pattison, Gordon L.Pattison.- 2 nd ed. Appleton & Lange		
学習目標	<p>一般目標 (GIO) 歯科衛生士に必要な専門知識を英語で理解するための基礎を修得する。</p> <p>行動目標 (SBOs) 1) 英単語を自分で辞書を引き調べる。 2) 口腔衛生指導を英語で説明することを学ぶ。</p>		
学習方略	1) 講義 2) CD 音声の利用		
学習評価	試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>Part 1-5</u> p24- Asking the Patient to Describe Symptoms	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
2	<u>Part 1-6</u> p32- Asking the Medical History	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
3	<u>Part 1-8</u> p48- Pregnancy	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
4	<u>Part 1-9</u> p54- Why do I need a cleaning?	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
5	<u>Part 1-11</u> p72- Sealants	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
6	<u>Part 1-12</u> p82- Fluoride treatment	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
7	<u>Part 1-14</u> p94- Tooth Brushing Instructions for an Adult	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
8	<u>Part 1-15</u> p100- Postoperative Instructions to the Patient	丹田 奈緒子	PC、音声データ スピーカー
	<u>試験</u>	丹田 奈緒子	

コミュニケーション学 ～行動科学～

担 当 者	保坂 誠		
単 位	時間数	履修時期	
—	4	2年前期	
教 科 書	必要に応じ講義資料を配布する。		
参 考 図 書	佐藤陽子・齋藤淳、他 編:「歯科衛生ケアプロセス」(医歯薬出版)		
学習目標	人の健康や病は、ライフスタイルに深く関係しているため、医療従事者は人の行動特性を理解する必要がある。患者や自分の気持ちを理解し良い人間関係を築けることができるようになるために、コミュニケーション法に関する知識、技能を修得する。		
学習方略	講義、グループ実習		
学習評価	試験、レポート、グループ発表		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>習慣行動と学習の関係</u> 講義資料 P13-21 言語使用のニーズ 学習の理論 習慣とはなにか 行動科学と生活習慣病 コミュニケーションの課題 人間は誤解する 対人援助の考え方	保坂 誠	プロジェクター
2	<u>コミュニケーションの基本</u> 講義資料 P22-30 観察法の意義 言語、非言語コミュニケーション 援助者の態度 行動特性の理解 コミュニケーションにみられる6つの態度	保坂 誠	プロジェクター 服薬指導 DVD

衛生行政・社会福祉

担 当 者	渡部 芳彦 阿部 利江		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	適宜、講義の中で紹介します。		
学習目標	日本の法・制度の枠組みと、歯科衛生業務を行う上で必要な諸法規を学ぶことを通して、社会の仕組みとそこでの歯科衛生の役割を理解します。また、これからの保健、医療、福祉分野における歯科のあり方を考え、歯科衛生士として積極的に社会に参画する素養を身につけることを目指します。		
学習方略	「歯科衛生学教育コア・カリキュラム—教育内容ガイドライン—」に基づく講義を基本とし、指定の教科書に沿って授業を進めます。その際、多様な事例を織り交ぜることで、分かりやすい説明に努め、歯科衛生士が関わる保健・医療・介護の現場での働きや課題を具体的に想起させて理解を深めます。		
学習評価	筆記試験により評価します。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>イントロダクション・法制概論・医療法（1）</u> 一連の講義内容を紹介するとともに、学習目標と学習方略について説明します。また、社会規範と法律、医療関連法規の枠組みについて説明します。さらに、医療法を概説します。	渡部 芳彦	プロジェクター
2	<u>医療法（2）</u> 医療法の諸規定、インフォームドコンセント、医療計画などについて学びます。	渡部 芳彦	プロジェクター
3	<u>歯科医師法・歯科衛生士法（1）</u> 歯科医師法の沿革と法律の内容を概説します。また、歯科衛生士法の成り立ちを概説し、目的と定義、業務について学びます。	渡部 芳彦	プロジェクター
4	<u>歯科衛生士法（2）</u> 法律が定める業務の具体的な内容と諸規定を学びます。	渡部 芳彦	プロジェクター

5	<u>歯科衛生士法（3）</u> 歯科衛生士国家試験に関すること、免許・登録・届出に関する規定などを学びます。	渡部 芳彦	プロジェクター
6	<u>歯科衛生士法（4）・歯科技工士法</u> 歯科衛生士法について練習問題などによってこれまで学んだことを復習します。また、歯科技工士法の沿革と法律の内容を学びます。	渡部 芳彦	プロジェクター
7	<u>医療関係職種</u> <u>歯科医療と関わる医療関係職種について、その法規に基づいて学びます。</u>	渡部 芳彦	プロジェクター
8	<u>関係法規</u> <u>地域包括ケア・地域保健（健康増進・母子・学校保健・労働衛生・精神障害者福祉など）・歯科口腔保健法などを学びます。</u>	渡部 芳彦	プロジェクター
9	<u>関係法規</u> <u>薬事関連法規、食品衛生・感染症・廃棄物などに関連する法規を学びます。</u>	渡部 芳彦	プロジェクター
10	<u>社会保障（1）</u> 社会保障の意義と各種社会保険の概要を説明します。	阿部 利江	プロジェクター
11	<u>社会保障（2）</u> 各種社会保障制度の具体的な内容を説明します。	阿部 利江	プロジェクター
12	<u>社会福祉（1）</u> 社会福祉法制度の枠組みと行政機構、及び生活保護制度などについて説明します。	阿部 利江	プロジェクター
13	<u>社会福祉（2）</u> 児童と家庭、障害者、高齢者の福祉制度と法律について説明します。	阿部 利江	プロジェクター
14	<u>医療の動向</u> 保険制度の仕組みを概説します。また、近年の医療の動向について学びます。	渡部 芳彦	プロジェクター
	<u>試験</u>	渡部 芳彦 阿部 利江	
15	<u>試験解説</u> 採点した試験を返却して試験の解説を行います。	渡部 芳彦	プロジェクター

歯内療法学

担 当 者	向阪 幸彦		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	勝海一郎・興地隆史・石井信之・中田和彦 編著：「歯内治療学 第5版」(医歯薬出版)		
学習目標	歯髄および根尖性歯周疾患の原因と進展機序を理解し、各種歯内治療法の目的および術式を理解する。		
学習方略	講義		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯内療法の概要（1）</u> ・ 歯内療法学とは ・ 歯髄腔の解剖 ・ 歯内疾患の概要と原因	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
2	<u>歯内療法の概要（2）</u> ・ 歯髄疾患の分類と症状	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
3	<u>歯内療法の概要（3）</u> ・ 根尖性歯周炎の分類と症状	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
4	<u>歯内療法の概要（4）</u> ・ 歯髄疾患・根尖性歯周炎の処置 ・ 歯内療法特有の検査と診断	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
5	<u>歯髄の保存療法（1）</u> ・ 歯髄鎮痛消炎療法 ・ 間接覆髄法 ・ 直接覆髄	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント

6	<u>歯髄の保存療法（2）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暫間的間接（IPC）覆髄法 ・ 保存療法に用いる薬剤 	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
7	<u>歯髄の除去療法（1）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 髄室開拡 ・ 生活断髄法 <p>アペキソゲネーシス：根未完成歯の生活断髄</p>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
8	<u>歯髄の除去療法（2）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接抜髄法 <p>治療手順の概略と使用器具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの国際規格 	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント ファイル類見本
9	<u>根管治療・根管充填（1）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根管治療の基本概念 ・ ラバーダム防湿 ・ 根管長測定 	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
10	<u>根管治療・根管充填（2）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの国際規格 ・ 根管の拡大形成 ・ 根管消毒 ・ 仮封 	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント ファイル類見本
11	<u>根管治療・根管充填（3）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根管充填 ・ 根未完成歯の根管処置 <p>アペキソゲネーシスとアペキシフィケーション</p>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
12	<u>外科的歯内療法（1）</u>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
13	<u>外科的歯内療法（2）</u> <u>外科的歯内療法の診療補助</u>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
14	<u>歯の外傷</u> <u>歯内療法における安全対策</u>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
15	<u>歯内療法における歯科衛生士の役割</u>	向阪 幸彦	PC プロジェクター プリント
	<u>試験</u>	向阪 幸彦	

歯周療法学 I

担 当 者	梶川 哲宏		
単 位	時間数	履修時期	
2	30	2年前期	
教 科 書	沼部 幸博、齋藤 淳、梅田 誠 編：「歯科衛生士講座 歯周病学 第5版」 (永末書店)		
参 考 図 書	村上伸也ら 編：「臨床歯周病学 第3版」(医歯薬出版) 沼部幸博ら 編：「ザ・ペリオドントロジー 第3版」(永末書店)		
一般目標 (GIO)	歯科衛生士として歯周病に対するチーム医療に参画し、その予防と治療を 実践するために、歯周療法学を体系的に学習し、修得する。		
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周組織の構造と機能について説明できる。 2. 歯周病の発症・進展機構について説明できる。 3. 歯周治療の理論的背景について説明できる。 4. 歯周治療の術式を知り、それを説明できる。 5. 歯周治療に果たす歯科衛生士の役割を説明できる。 		
学習方略 (LS)	講義		
学習評価 (EV)	授業への出席状況を参考にすると共に、筆記試験の成績をもって評価する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>歯周病学概論</u> 総論 (イントロダクション)	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
2	<u>歯周組織の構造と機能</u> 歯周組織の解剖学、機能的に見た歯周組織の特異性	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
3	<u>歯周病の進行と分類</u> 歯周病の病型とその特徴	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
4	<u>歯周疾患の検査 1</u> 歯周組織検査法、歯周病診断の考え方	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
5	<u>歯周疾患の検査 2</u> 疫学的指数を用いた検査	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント

6	<u>歯周基本治療 1</u> 歯周基本治療の概念 プラークコントロールの考え方と実際	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
7	<u>歯周基本治療 2</u> スケーリング・ルートプレーニングの理論 スケーリング・ルートプレーニングの実際	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
8	<u>歯周基本治療 3</u> 歯周病の病因としての咬合 外傷性咬合への対処（咬合調整、固定法など）	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
9	<u>歯周外科治療 1</u> 歯周外科総論 各論 1：組織付着療法 各論 2：切除療法	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
10	<u>歯周外科治療 2</u> 各論 3：歯周組織再生療法	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
11	<u>歯周外科治療 3</u> 各論 4：歯周形成手術 歯周外科に用いる器具	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
12	<u>根分岐部病変と歯周一歯内疾患</u> 根分岐部病変とその処置法 歯周一歯内病変	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
13	<u>口腔機能回復治療</u> 永久固定 歯周病における矯正治療 インプラント周囲疾患と歯周病の関係	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
14	<u>Supportive Periodontal Therapy (SPT)</u> 歯周病における化学療法とその理論的背景 歯周治療に果たす歯科衛生士の役割	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
15	<u>ペリオドンタル・メディシン</u> 歯周治療が全身の健康に果たす役割	梶川 哲宏	PC プロジェクター プリント
	<u>試験</u>	梶川 哲宏	

歯科補綴学1

担当者	江草 宏	
単位	時間数	履修時期
1	15	2年前期
教科書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ 「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」(医歯薬出版)	
参考図書	松村英雄・大久保力廣、他 編：「歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助」(永末書店) 小司利昭・黒川裕臣 編：「歯科補綴学と診療補助」(クインテッセンス)	
学習目標	歯の喪失に伴う口腔の特性およびそれに関連する顎口腔系ならびにこれらに関連する全身的な変化を理解し、クラウンブリッジ診療を補助するために必要となる治療計画、治療、術後管理の知識を身につける。	
学習方略	講義（コアカリキュラムに準拠し、授業内に試問による到達度確認を行う）	
学習評価	出席、試験	

回数	講義内容・項目	担当講師	使用機材
1	<u>歯科補綴学総論</u> ・歯科補綴の概要 ・補綴装置の種類と適応	江草 宏	プロジェクター
2	<u>クラウンの概論</u> ・クラウンブリッジ治療の流れ <u>クラウンの診療（1）</u> ・審査、診断、治療方針の決定、補綴前処置、支台築造	江草 宏	プロジェクター
3	<u>クラウンの診療（2）</u> ・支台歯形成、プロビジョナルクラウン、印象採得	江草 宏	プロジェクター
4	<u>クラウンの診療（3）</u> ・咬合採得、シェードテイキング、技工ワークフロー（全部鋳造冠・前装冠・CAD/CAM冠）、調整・研磨	江草 宏	プロジェクター
5	<u>クラウンの診療（4）</u> ・口腔内試適、セメント合着、患者指導・術後管理	江草 宏	プロジェクター
6	<u>ブリッジの概要</u> ・基本的構成、目的、要件、分類、臨床的意義 ・支台装置、ポンティック、連結部	江草 宏	プロジェクター
7	<u>ブリッジの診療</u> ・ブリッジ治療の流れ ・接着ブリッジ	江草 宏	プロジェクター
	<u>試験</u>	江草 宏	
8	<u>試験解説・まとめ</u>	江草 宏	プロジェクター

歯科補綴学2

担 当 者	小山 重人		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	藍 稔、他 編：「スタンダード部分床義歯補綴学 第2版」(学建書院) 藤本篤士、他 編：「5 疾病の口腔ケア」(医歯薬出版)		
学習目標	歯の喪失に伴う口腔の特性およびそれに関連する顎口腔系の形態的、機能的な退行変化、ならびにこれらに関連する全身的な変化を理解し、治療計画、治療、治療後の管理および補綴治療における診療補助能力を身につける。		
学習方略	教科書、スライドなどの視覚資料を用いて多角的に学習する。		
学習評価	授業態度、出席、レポート、期末試験から学習到達度を総合的に評価する。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>補綴歯科治療の基礎知識</u> 有床義歯の意義・目的・種類 歯列の形態と位置的關係 顎口腔系の機能 歯の欠損、喪失に伴う変化や障害	小山 重人	プロジェクター
2	<u>補綴歯科治療の基礎知識</u> 咬合とその関連事項 顎関節運動と咀嚼運動 顎関節症と歯ぎしりの治療 <u>有床義歯治療の実際</u> 全部床義歯の分類	小山 重人	プロジェクター
3	<u>有床義歯治療の実際</u> 全部床義歯の構成要素 臨床ステップの概要	小山 重人	プロジェクター
4	<u>有床義歯治療の実際</u> 部分床義歯の分類 構成要素	小山 重人	プロジェクター
5	<u>有床義歯治療の実際</u> 部分床義歯の構成要素 臨床ステップの概要	小山 重人	プロジェクター
6	<u>インプラント治療の実際</u> インプラントとは、インプラント治療の流れ	小山 重人	プロジェクター
7	<u>特殊な口腔内装置を用いる治療</u> 顎顔面補綴治療 摂食嚥下治療	小山 重人	プロジェクター
	<u>試験</u>	小山 重人	
8	<u>試験解説</u>	小山 重人	プロジェクター

歯科矯正学

担 当 者	坂東 加南		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学 第2版」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	佐々木洋 編：「口腔の成育をはかる 全3巻」(医歯薬出版)		
学習目標	歯科矯正学とは、不正咬合の診断、抑制、治療を行う歯科の一分野である。不正咬合とそれによる様々な障害、それに対して矯正歯科医がどのように対処するのかを学び、歯科衛生士の業務内容、それらに必要な知識と技術を修める。		
学習方略	講義		
学習評価	筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>①歯科矯正学概論／②顎顔面の成長発育</u> ①歯科矯正学の定義、不正咬合による障害、矯正治療の目標 ②成長発育、頭部の成長発育、顎の成長発育について	坂東 加南	PC プロジェクター
2	<u>①正常咬合／②不正咬合</u> ①正常咬合の概念、条件 ②不正咬合の概念、条件、上下歯列関係の異常	坂東 加南	PC プロジェクター
3	<u>①不正咬合の分類／②不正咬合の原因</u> ①不正咬合の種類、Angleの分類 ②不正咬合になりうる遺伝的原因、後天的原因	坂東 加南	PC プロジェクター
4	<u>①口腔習癖／②矯正力</u> ①異常習癖による不正咬合の誘発、これらの抑制・治療 ②矯正力の定義と分類、歯の移動様式、固定種類	坂東 加南	PC プロジェクター

5	<u>①診断学概論／②症例の診断</u> ①診断の定義と進め方、診察に必要な資料等 ②症例分析の概要	坂東 加南	PC プロジェクター
6	<u>矯正器具、材料</u> 矯正器具と材料を画像で理解する	坂東 加南	PC プロジェクター
7	<u>矯正装置</u> 装置のはたらきと適用、必要な材料等	坂東 加南	PC プロジェクター
8	<u>①保定／②矯正臨床における歯科衛生士の役割</u> ①動的処置終了後の必要な装置であることの説明、種類と期間 ②口腔衛生指導、診療介助、口腔機能改善の内容	坂東 加南	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	坂東 加南	

口腔外科学

担 当 者	下田 元 江副 祐史 森島 浩允		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」（医歯薬出版）		
参 考 資 料	公益社団法人 日本口腔外科学会ホームページ（ http://www.jsoms.or.jp ）口腔外科疾患診療ガイドライン、一般社団法人 日本歯科麻酔学会ホームページ（ https://kokuhoken.net/jdsa ）各診療ガイドライン		
学習目標	口腔外科の診療補助の能力を習得する。ただし各項目については、診察補助の範囲を考慮する。		
学習方略	口腔外科の臨床における歯科衛生士の使命を自覚できるようにできるだけ実際の症例や診療の現状を提示する内容の講義を行う。		
学習評価	筆記試験および多肢選択式客観試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>口腔外科の概要</u>	江副 祐史	PC プロジェクター
2	<u>口腔粘膜の病変、唾液腺疾患</u>	下田 元	PC プロジェクター
3	<u>顎・口腔領域の炎症性疾患、嚢胞性疾患</u>	江副 祐史	PC プロジェクター
4	<u>顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患</u>	江副 祐史	PC プロジェクター

5	<u>歯科口腔外科診療に関連する全身疾患と全身管理、緊急時の対応</u>	下田 元	PC プロジェクター
6	<u>顎・口腔領域の先天異常と発育異常</u>	江副 祐史	PC プロジェクター
7	<u>心肺蘇生法（BLS）、 歯科口腔外科診療時の偶発症と緊急処置、救急対応</u>	下田 元	PC プロジェクター
8	<u>口腔領域の神経疾患、歯科麻酔科臨床</u>	下田 元	PC プロジェクター
9	<u>顎・口腔領域の損傷および機能障害、顎関節疾患</u>	森島 浩允	PC プロジェクター
10	<u>口腔外科診療の実際、顎変形症、インプラント</u>	森島 浩允	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	江副 祐史	

小児歯科学

担 当 者	但野 愛実		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	2年前期	
教 科 書	新谷誠康 編：「歯科衛生士講座 小児歯科学」（永末書店）		
参 考 図 書			
学習目標	口腔疾患の発病、進行時期として重要な小児期における歯科衛生士の役割を理解し、臨床の場で対応できるような能力の基礎を総合的に学ぶ。小児の心身の発育に関する基本的知識や、小児の口腔疾患、予防法、診療補助などについて知識を習得する。		
学習方略	講義		
学習評価	筆記試験、出席状況、受講態度		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>小児歯科学とは</u> 小児歯科学の意義と目的、小児歯科の特徴 <u>心身の発育</u> 小児の成長発達、小児の機能の発達 情緒・社会性の発達、小児の生理的特徴	但野 愛実	プロジェクター
2	<u>頭蓋と顎の成長発育</u> 頭蓋の成長発育、顎の成長発育、成長発育の評価 <u>歯の発育と異常（1）</u> 乳歯・幼若永久歯の特徴、歯の形成、歯の形成異常	但野 愛実	プロジェクター
3	<u>歯の発育と異常（2）</u> 歯の萌出、歯の萌出異常 <u>歯列および咬合の発育と異常</u> 歯列・咬合の発育、歯列・咬合の発育異常	但野 愛実	プロジェクター
4	<u>歯科口腔保健管理</u> 母子歯科保健の意義と目的、歯科保健管理の実際 食育 <u>小児への歯科的対応</u> 小児患者の心理 小児—保護者—歯科医師・歯科衛生士の関係 歯科的対応の実際、行動変容技法	但野 愛実	プロジェクター

5	<u>小児の歯科疾患</u> う蝕、歯周疾患、軟組織疾患、唇顎口蓋裂	但野 愛実	プロジェクター
6	<u>小児歯科診療の基本</u> 小児歯科診療の流れ、診療補助の原則、 歯科診療室と器材の管理、医療安全の考え方 <u>診察・検査</u> 診断に必要な診察、診断に必要な検査と資料	但野 愛実	プロジェクター
7	<u>小児歯科における局所麻酔法</u> 局所麻酔の種類、局所麻酔の合併症および偶発症 <u>小児の歯冠修復</u> 乳歯および幼若永久歯の歯冠修復 <u>小児の歯内療法</u> 乳歯および幼若永久歯の歯内療法	但野 愛実	プロジェクター
8	<u>外科的処置</u> 乳歯の抜歯、口腔内消炎処置、薬物療法 <u>外傷の処置</u> 歯の外傷、外傷の処置、その他の外傷 <u>咬合誘導</u> 咬合誘導、保隙、能動的咬合誘導、口腔習癖への対応	但野 愛実	プロジェクター
9	<u>う蝕の予防処置と進行抑制</u> う蝕予防の考え方、細菌からみたう蝕予防 う蝕予防・口腔管理に必要な検査 食事習慣・生活習慣から見たう蝕予防 う蝕になりにくい歯をつくる 患児と保護者への小児歯科教育、う蝕の進行抑制 <u>リコール（定期健診）</u> リコールの目的、リコールの管理、時期と間隔、 診察・検査項目	但野 愛実	プロジェクター
10	<u>障害児の歯科治療</u> 障害の概念、障害とその特性、行動調整法、 摂食・嚥下機能障害	但野 愛実	プロジェクター
	<u>試験</u>	但野 愛実	

障がい者・高齢者歯科学

担 当 者	長沼 由泰 山口 哲史		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「障害者歯科」第2版 (医歯薬出版) 全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「高齢者歯科学」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	日本障害者歯科学会 編：「スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科 第2版」(医歯薬出版) 森戸光彦・山根源之・櫻井薫・羽村章・下山和弘・柿木保明 編：「老年歯科医学 第2版」(医歯薬出版)		
学習目標	疾病を持つ高齢者および障害者のQOLを高める歯科的援助を行うために、高齢者・障害者の全身・精神・行動・顎口腔の特徴と、これらの人々に対する歯科医療の機能と役割および支援法を理解する。		
学習方略	講義 (プリント、スライド)		
学習評価	出席、期末試験、その他 (学習態度など)		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>障害の概念(第1章)</u> ・ 歯科医療におけるスペシャルニーズ ・ 障害の分類 <u>地域における障害者歯科 (第7章)</u> ・ 障害者歯科と地域医療連携	長沼 由泰	PC プロジェクター
2	<u>歯科医療で特別な支援が必要な疾患 (第2章)</u> ・ 知的能力障害 ・ 自閉スペクトラム症 ・ 脳性麻痺 ・ ダウン症候群 ・ てんかん ・ 医療的ケア児 ほか	長沼 由泰	PC プロジェクター
3	<u>障害者の歯科医療と行動調整(第3章)</u> ・ 各種行動調整法 <u>リスク評価と安全管理 (第5章)</u> ・ 障害者歯科におけるリスク評価 ・ 障害別のリスクと対応	長沼 由泰	PC プロジェクター
4	<u>健康支援と口腔衛生管理 (第4章)</u> ・ 障害者本人や介助者が行う口腔のケアへの支援 ・ 専門的口腔ケア <u>摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割 (第6章)</u> ・ 摂食嚥下障害と口腔管理 ・ 小児の摂食嚥下障害への対処法	長沼 由泰	PC プロジェクター

5	<u>高齢者の歯科口腔保健 ～わが国の現状～</u>	山口 哲史	プロジェクター
6	<u>顎口腔と全身の老化・生活習慣病と老年病</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個の老化 ・ 顎口腔の老化 ・ 老化と老年病 	山口 哲史	プロジェクター
7	<u>社会の高齢化</u>	山口 哲史	プロジェクター
8	<u>高齢者における歯科口腔保健のリスク</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 顎口腔の老化と歯科口腔疾患 ・ 生活習慣病と歯科口腔保健 	山口 哲史	プロジェクター
9	<u>高齢者の歯科診療と歯科診療補助</u>	山口 哲史	プロジェクター
10	<u>訪問歯科診療と訪問歯科保健指導</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の訪問歯科診療と訪問歯科保健指導 ・ 介護保険における口腔ケア 	山口 哲史	プロジェクター
	<u>試験</u>	長沼 由泰 山口 哲史	

口腔保健学

(口腔疾患予防処置法Ⅱ・保健指導法Ⅱ・歯科診療補助法Ⅱ)

担 当 者	専任教員／特別講師（歯科医師、歯科衛生士、他）		
	単位	時間	履修時期
口腔疾患予防処置法Ⅱ	2	80時間	2年
保健指導法Ⅱ	2	80時間	2年
歯科診療補助法Ⅱ	3	120時間	2年
教 科 書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」／「歯科診療補助論」（医歯薬出版） ／「歯科器械」「歯科材料」（医歯薬出版）／「歯科医療倫理」（医歯薬出版） ／「歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド」（医歯薬出版）		
参 考 図 書	「標準歯周病学」（医学書院）／「ペリオドンタルインスツルメンテーション」（医歯薬出版）／「口腔ケア健康ガイド」（学建書院）／「歯科保健指導ハンドブック」（医歯薬出版）／「喫煙と健康」（厚生労働省）／「デンタルプラーク細菌」（医歯薬出版）／「Dental Hygiene Theory and Practice 2nd ed.」（WB Saunders）／歯ブラシ事典（学建書院）他		
一般目標（GIO）	対象となる個人、集団のニーズに応じた適切な歯科衛生行動をとるために、問題解決能力を高め、専門的な支援の実践につながる知識、技術、態度を修得する		
行動目標（SBOs）	<ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科用器械、材料の正確な取扱い、および管理を行う 2) 歯科治療時に必要な補助動作を行う 3) 歯周疾患の発症と進行および予防について説明する 4) 各ライフステージにおける保健行動を説明する 5) 日常の生活習慣と歯科保健との関連を述べる 6) 正確なアセスメントを行う 7) 歯科衛生診断を基に歯科衛生ケアプランを作成する 8) 各種インスツルメントを症例により選択し、正確且つ安全な操作を行う 9) 歯面及び、歯肉縁下の付着物および沈着物を除去する 10) 器具、器材のメンテナンスを行う 11) 症例検討・発表を行う 		
学習方略（LS）	講義・演習・実習・グループ討議、および シミュレーション実習		
学習評価（EV）	形成的評価 チェックリスト、観察記録、簡略化 OSCE、プレ・ポストテスト 総括的評価 前・後期末試験 基礎知識客観試験、口頭試問、レポート		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 ～ 4	<u>総合実習(1、2年合同実習②)</u> アセスメント <ul style="list-style-type: none"> ・患者誘導、問診、口腔内概診 ・口腔内写真撮影および資料の取り扱いと管理 ・プラークスコア、う蝕活動性試験 実施(歯科衛生介入) <ul style="list-style-type: none"> ・T B I、フッ化物応用 ・栄養指導 評価 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容の評価と記録 	専任教員	
5 6	<u>小集団指導法 講義</u> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団指導法の特徴 ・対象集団別指導の考え方 ・教材資料、模型の使い方 	専任教員	
7 ～ 22	<u>各現場活動における口腔衛生指導 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校口腔衛生指導実習 合同オリエンテーション ・指導案、教材資料作成 ・準備、リハーサル 	専任教員 ／特別講師	
23	<u>小集団指導法② 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導話法 	専任教員	
24 25	<u>対象別指導法 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科矯正者へのT B I 	専任教員	
26 27	<u>対象別指導法 ～妊産婦～ 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の特徴 ・妊娠期の口腔に関する特徴 ・食生活の特徴と栄養 ・症例検討 	専任教員	
28 29	<u>対象別指導法 ～青年期・成人期～ 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期・成人期の歯科保健行動 ・食生活の特徴と栄養 ・歯科で行う禁煙指導とは 	専任教員	
30 31	<u>対象別指導法 ～高齢者～ 講義・演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の歯科保健行動 ・食生活の特徴と栄養 ・高齢者の歯科保健の支援 ・高齢者の日常自立度と認知症 	専任教員 ／特別講師	
32 33	<u>対象別指導法 ～障害者～ 講義・実習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の特徴 ・障害者の口腔に関する特徴 ・歯科保健指導 ・栄養指導 	専任教員 ／特別講師	

34 35	<u>口腔清掃用具の検討⑤ 講義・演習</u> ・洗口剤の分類 ・洗口剤の効果、主な作用	専任教員 ／特別講師	
36 37	<u>保健指導の実際② 演習</u> ・症例検討②	専任教員	
38 39	<u>歯科診療補助時の共同動作 ～ 合着材 演習</u> ・各種合着材の取扱い、タイミング、フォーハンドテクニク	専任教員	
40 ～ 43	<u>歯科治療時の診療補助 ～歯科口腔放射線学～</u> ・エックス線の基礎知識 ・歯科用エックス線発生装置とエックス線写真 ・放射線防護 ・歯科用エックス線撮影法（1）	飯久保 正弘	プロジェクター
44 ～ 46	<u>歯科治療時の診療補助 ～歯科材料～</u> ・歯科材料の基礎知識 歯科材料の分類、所要性質 ・印象材 アルジネート印象材、寒天印象材、ゴム質印象材 ・模型材とワックス 歯科用石こう、ワックス、小テスト ・歯科用セメント ガラスアイオノマーセメント 他 ・歯冠修復材料 コンポジットレジン	細谷 誠	プロジェクター
47 48	<u>暫間被覆冠の作製① 講義・演習</u> ・既製冠を用いた作製法 ・暫間被覆冠の目的、製作方法、即時重合レジン ^① の取扱い ・仮着材の取扱い、仮着	専任教員	
49 ～ 51	<u>暫間被覆冠の作製② 講義・演習</u> ・直接法（モチ状レジン）、製作方法、即時重合レジン ^② の取扱い ・仮着材の取扱い、仮着	専任教員	
52 53	<u>根管治療・根管充填時の器具器材の取扱い 講義・演習</u> ・根管治療（術式、器具器材の名称、取扱い） ・仮封材の種類、取扱い ・根管充填（術式、器具器材の名称、取扱い） ・根充材の取扱い	専任教員	
54 55	<u>根管治療・根管充填時の共同動作 実習</u> ・フォーハンドテクニク ・器具器材の受け渡し	専任教員	
56	<u>支台築造① 講義・実習</u> ・支台築造の種類（メタルコア、レジンコア） ・充填用レジン ^① の取扱い	専任教員	

57	<u>支台築造② 講義・実習</u>	専任教員	
58	・メタルコア印象採得（寒天アルジネート連合印象採得）		
59	<u>暫間被覆冠の作製③ 講義・演習</u>	専任教員	
60	・既製冠を用いた作製法（ポストTEK）、製作方法、即時重合レジン の取扱い ・仮着材の取扱い、仮着		
61	<u>X線写真撮影法、口腔内写真撮影法 講義・実習</u>	専任教員 ／特別講師	
62	・X線写真の利用法、撮影方法、現像法、管理方法		
63	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作 講義</u>	専任教員	
	・鋭匙型スケーラーの種類、形態 ・鋭匙型スケーラー（グレーシートタイプ）の操作方法		
64	<u>歯根形態の特徴、理解の必要性 講義・演習①</u>	専任教員	
65	・歯根形態の特徴 ・歯根模型での鋭匙型スケーラーの操作 ・11/12AF探針の操作方法		
66	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習①</u>	専任教員	
	・実施部歯根形態の復習 ・右下4～7の操作		
67	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習②</u>	専任教員	
	・実施部歯根形態の復習 ・右上4～7の操作		
68	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習①</u>	専任教員	
69	・右下4～7の操作		
70	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習②</u>	専任教員	
71	・右上4～7の操作		
72	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習③</u>	専任教員	
	・実施部歯根形態の復習 ・上顎3～3の操作		
73	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習④</u>	専任教員	
	・実施部歯根形態の復習 ・下顎3～3の操作		
74	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習③</u>	専任教員	
75	・上顎3～3の操作		
76	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習④</u>	専任教員	
77	・下顎3～3の操作		
78	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習⑤</u>	専任教員	
	・実施部歯根形態の復習 ・左下4～7の操作		

79 80	<u>シャープニングセミナー</u>	特別講師	
81	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 演習⑥</u> ・実施部歯根形態の復習 ・左上4～7の操作	専任教員	
82 83	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習⑤</u> ・左下4～7の操作	専任教員	
84 85	<u>鋭匙型スケーラーの基本操作法 実習⑥</u> ・左上4～7の操作	専任教員	
86 87	<u>PMT C (P T C) ① 講義・演習</u> ・バイオフィルム感染症の概念 ・う蝕、歯周疾患の予防システム	専任教員	
88 89	<u>PMT C (P T C) ② 実習</u> ・口腔内概診、PCR、PMT C (P T C)	専任教員	
90 91	<u>歯ブラシ検討 (模擬患者実習)</u>	専任教員	
92	<u>禁煙指導の実際 (模擬患者実習)</u>	専任教員	
93 ～ 100	<u>総合実習 (模擬患者実習②) 事前実習</u> ・オリエンテーション アセスメント ・患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連QOLモデルの応用 ・う蝕活動性試験 ・情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 ・問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成 (簡易) 実施 (歯科衛生介入) ・T B I、歯面研磨・フッ化物応用 ・栄養指導、禁煙指導 評価 ・業務記録の作成	専任教員	

101 ～ 103	<u>総合実習（模擬患者実習②）（術者）</u> アセスメント <ul style="list-style-type: none"> 患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連 QOL モデルの応用 う蝕活動性試験 情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 <ul style="list-style-type: none"> 問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） <ul style="list-style-type: none"> T B I、歯面研磨・フッ化物応用 栄養指導、禁煙指導 評価 <ul style="list-style-type: none"> 実施内容の評価、業務記録の作成、歯科衛生ケアプロセスの展開 	専任教員 ／特別講師	
104 ～ 106	<u>総合実習（模擬患者実習②）（アシスタント）</u> アセスメント <ul style="list-style-type: none"> 患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデル、口腔関連 QOL モデルの応用 う蝕活動性試験 情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 <ul style="list-style-type: none"> 問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） <ul style="list-style-type: none"> T B I、歯面研磨・フッ化物応用 栄養指導、禁煙指導 	専任教員 ／特別講師	
107 ～ 110	<u>総合実習（模擬患者実習②）</u> 症例検討（プレゼンテーション） 歯科衛生ケアプロセスの展開	専任教員	
111	<u>歯科治療時の診療補助 ～補綴治療の概要 講義～</u> <ul style="list-style-type: none"> 補綴治療の概要、欠損補綴 クラウン、ブリッジ、前装冠、部分義歯、総義歯 補綴治療の流れ 	特別講師	
112	<u>歯科治療時の診療補助 ～口腔外科治療の概要 講義～</u> <ul style="list-style-type: none"> 口腔外科治療の概要 抜歯、歯周外科 口腔外科治療の流れ 器具器材の取り扱い 	特別講師	
113 ～ 116	<u>各現場活動における口腔衛生指導 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> 障がいへの理解 障がいのある方への対応の基本 様々なコミュニケーション方法を学ぶ 	専任教員	
117 ～ 126	<u>総合実習</u> <ul style="list-style-type: none"> フォーハンドテクニック トレーセッティング 1人バキューム操作 	専任教員	

	<ul style="list-style-type: none"> ・スケーリング、歯面研磨 ・概形印象採得 ・セメント練和、仮封 		
127 128	<u>保健指導の実際③ 演習</u> <ul style="list-style-type: none"> ・症例検討③ 	専任教員	
129 ～ 132	<u>簡略化OSCE ～2年次～</u>	専任教員	
	<u>臨床実習 事前準備・まとめ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・反省会、実習報告会 	専任教員	
133 ～ 136	<u>歯科治療時の診療補助 ～介護技術～</u> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活動作を援助する（講義・演習） ・介護技術（演習） 	渡邊 生恵	
137 138	<u>歯科衛生士の行う専門的口腔ケア 演習①</u> <ul style="list-style-type: none"> ・水のみ ・スポンジブラシ 	専任教員	
139 140	<u>歯科衛生士の行う専門的口腔ケア 演習②</u> <ul style="list-style-type: none"> ・吸引器 	専任教員	
	<u>期末試験</u> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記 ・実技 	専任教員	

口腔保健学 ～歯科衛生ケアプロセスⅡ～

担 当 者	宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 齋藤 淳		
単 位	時間数	履修時期	
1	15	2年前期	
教 科 書	佐藤 陽子、齋藤 淳 編著「歯科衛生ケアプロセス 実践ガイド」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	Darby ML, Wash MM. 「Dental Hygiene Theory and Practice. 4th ed.」(W.B.Saunders) 「歯科衛生ケアプロセス」(医歯薬出版)		
一般目標 (GIO)	対象者のニーズに応じた歯科衛生ケアを意図的に、科学的に実施するために、歯科衛生ケアプロセスの基本的知識・技術・態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科衛生ケアプロセスの概念と構成要素について説明する 2) 収集した情報をクリティカル思考を用いて処理し、歯科衛生診断を行う 3) 保健行動や歯科衛生理論の計画立案における意義を説明する 4) 歯科衛生診断に基づいた歯科衛生ケアプランをデザインする 5) 歯科衛生理論、概念モデルの基本的事項を説明する 		
学習方略 (LS)	講義・演習・スモールグループ討議		
学習評価 (EV)	口頭試問 観察記録 レポート		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>アセスメント～歯科衛生診断</u> ・情報の解釈と分析 ・問題の明確化と歯科衛生診断文の記述	教務主任	プロジェクター
2	<u>計画立案～評価</u> ・計画立案に際して考慮すべき点 ・歯科衛生業務記録の記載	教務主任	プロジェクター
3 4	<u>ペーパー・ペイシエントによる演習1</u> ・歯周病患者に対する歯科衛生ケアプロセスの展開	教務主任	プロジェクター
5 6	<u>ペーパー・ペイシエントによる演習2</u> ・高齢患者に対する歯科衛生ケアプロセスの展開	教務主任	プロジェクター
7	<u>歯科衛生理論と概念モデル</u> ・計画立案と保健行動の理論 ・歯科衛生理論・概念モデル① ヒューマンニーズ概念モデル	齋藤 淳	プロジェクター
8	<u>クリティカル思考と歯科衛生行動</u> ・歯科衛生理論・概念モデル② 口腔関連 QOL (OHRQL) モデル 保健信念モデル	齋藤 淳	プロジェクター
	<u>試験</u>	教務主任	

口腔保健学 ～感染予防学～

担 当 者	江草 宏 小林 洋子 渡辺 隼	
単 位	時間数	履修時期
1	15	2年前期
教 科 書	ICHG 研究会 編：「新 歯科医療における感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄」（医歯薬出版）	
参 考 図 書	日本歯科医学会 編：「エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策実践マニュアル 改訂版」（永末書店）	
学習目標	感染の成立原因に対する理解と感染予防対策の具体的方法を習得する	
学習方略	講義（プリント・スライド）・レポート	
学習評価	出席状況・期末試験・レポート・その他（講義および実習態度）	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>院内感染とは</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染・医療関連感染 ・ 特に感染に注意すべき患者（易感染患者） ・ スタンダードプレコーションの背景 	江草 宏	プロジェクター
2	<u>感染経路とその予防対策</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染の成立原因について ・ 感染経路とその予防対策 ・ 個人防護用具（PPE）について ・ 手洗い手指衛生について 	渡辺 隼	プロジェクター
3	<u>滅菌、消毒、洗浄の違い</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒剤の種類と抗微生物スペクトル ・ 消毒剤の効果と特徴 ・ 消毒剤の使用法 	小林 洋子	プロジェクター
4	<u>器具・器材の滅菌法について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧蒸気滅菌法（オートクレーブ） ・ 低温プラズマ滅菌法 ・ エチレンオキシサイドガス滅菌法（EOG） 	小林 洋子	プロジェクター

5	<u>医療廃棄物の取扱いについて</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の法律規定と管理 ・ 感染性・非感染性医療廃棄物の区別 ・ 鋭利な物（注射針、メスの刃）の廃棄方法 	渡辺 隼	プロジェクター
6	<u>針刺し切創・血液体液曝露事故対策</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 針刺し切創事故・血液体液曝露事故の現況 ・ 針刺し切創事故・血液体液曝露事故の防止対策 ・ 針刺し切創事故・血液体液曝露事故後の対応 	渡辺 隼	プロジェクター
7	<u>歯科における院内感染対策ガイドライン</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ タービン・エンジンハンドピースの滅菌 ・ 歯科用ユニット水の汚染対策 ・ 印象体、石膏模型の消毒 	江草 宏	プロジェクター
8	<u>ウイルス性肝炎について</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ B型肝炎、C型肝炎など <u>H I V感染症とA I D S</u>	小林 洋子	プロジェクター
	<u>試験</u>	小林 洋子	

口腔保健学 ～臨床検査法～

担 当 者	坪井 明人 佐藤 修一		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	2年前期	
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会 監：歯科衛生学シリーズ「臨床検査」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	講義内で提示する		
一般目標 (GIO)	歯科における臨床検査の補助を適切に行うため、臨床検査の意義、諸検査に必要な知識、検体の取扱いについて修得する。		
行動目標 (SBOs)	1) 歯科における臨床検査の必要性を説明する 2) 各検体からどのような情報が得られるかを説明する 3) 各検査を行う意義・注意点を説明する 4) 各検査結果から全身状態を読みとく		
学習方略 (LS)	グループ学習で課題を発表する		
学習評価 (EV)	出席状況、試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>付章の主な疾患・病態別疾患検査値の捉え方と口腔疾患の解説</u>	佐藤 修一	PC プロジェクター
2	<u>第4章の口腔領域の臨床検査の説明とデモ</u>	佐藤 修一	PC プロジェクター
3	<u>臨床検査と歯科衛生士の役割</u> <u>生理機能検査 ①バイタルサインに関わる基本の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター

4	<u>生理機能検査</u> ②心機能検査 ③肺機能検査 ④閉塞性睡眠時無呼吸の検査	坪井 明人	PC プロジェクター
5	<u>血液学的検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
6	<u>感染症の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
7	<u>肝機能の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
8	<u>腎機能の検査</u> <u>糖尿病の検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
9	<u>代謝・内分泌疾患の検査</u> <u>免疫・血清学的検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
10	<u>病理学的検査</u> <u>画像検査</u>	坪井 明人	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	坪井 明人 佐藤 修一	

摂食・咀嚼・嚥下指導

担 当 者	専任教員		
単 位	時間数	履修時期	
—	8	2年後期	
教 科 書	日本歯科衛生士会 監：「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版」 (医歯薬出版)		
参 考 図 書	Logemann 摂食嚥下障害 (医歯薬出版)、摂食嚥下のメカニズム (CD-ROM) (医歯薬出版)、脳卒中の摂食嚥下障害 (医歯薬出版)、食べる機能を回復する口腔ケア (医歯薬出版)、乳幼児の摂食指導 (医歯薬出版)、高齢者・障害者の「食」の援助プログラム (医歯薬出版)、介護のための口腔保健マニュアル (医歯薬出版)、歯科衛生ケアプロセス (医歯薬出版)、事例でわかる摂食嚥下リハビリテーション (中央法規)		
一般目標 (GIO)	摂食嚥下障害を有する対象者および高齢者へ適切な歯科衛生ケアを行うため、摂食嚥下指導および専門的口腔ケアの基本的な知識・技術・態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	1) 摂食嚥下障害の概要を説明する 2) 摂食・咀嚼・嚥下に関わる解剖、生理について説明する 3) 摂食・咀嚼・嚥下機能の発達過程を説明する 4) 専門的口腔ケア (器質的、機能的) を理解し、実施する		
学習方略 (LS)	講義・スモールグループ討議・演習		
学習評価 (EV)	口頭試問 観察記録 レポート 客観試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 2	<u>摂食・咀嚼・嚥下機能とQOL</u> ・摂食嚥下障害とは ・食べるメカニズムを考える ・食と口腔の感覚刺激	専任教員	
3 4	<u>摂食嚥下障害と口腔ケア</u> ・口腔リハビリテーションの考え方 ・専門的な口腔ケアの必要性	専任教員	

海外研修

担 当 者	齋藤 淳 専任教員／歯科医師		
単 位	時間数	単 位	
2	90	2	
教 科 書	配布プリントを使用		
参 考 図 書	1. Wineberg MA et al. 「Comprehensive Periodontics for the Dental Hygienist, 4th ed.」 (Prentice Hall) 2. Darby ML, Walsh MM. 「Dental Hygiene -Theory and Practice-, 4th ed.」 (Elsevier Saunders) 3. Wilkins EM. 「Clinical Practice of the Dental Hygienist, 12 th ed.」 (Lippincott Williams & Wilkins)		
学習目標	一般目標 (GIO) 歯科衛生士が生涯を通して学習、研鑽を行うための一助として、歯科医療に関連した基本的な英語力を修得する。 行動目標 (SBOs) 1) 歯科衛生に関する基本的な用語を英語で説明する。 2) 診療室における基本的な事項を英語で表現する。 3) 英文ホームページや文献から必要な情報を収集する。 4) 海外研修に必要なコミュニケーションの基本を実践する。		
学習方略	1) 講義 2) 配布資料、参考図書、ビデオ等の利用		
学習評価	1) 授業参加状況 2) 海外研修への参加		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>英文情報を収集し、理解するための基礎知識①</u> ・インターネットの活用	齋藤 淳	PC プロジェクター
2	<u>英文情報を収集し、理解するための基礎知識②</u> ・英文教科書、論文	齋藤 淳	PC プロジェクター
3	<u>海外研修における英語</u>	齋藤 淳	PC プロジェクター
4	<u>歯科医療の動画を見る</u> ・見て聴いて理解する 歯科英語	齋藤 淳	PC プロジェクター

5 6	<u>英文抄録を読む</u>	専任教員	
7 ～ 9	<u>コミュニケーションの取り方</u>	専任教員	
10 ～ 12	<u>日本の紹介、学校紹介、自己紹介の実際</u>	専任教員	
13 ～ 15	<u>日本の歯科衛生士について</u> 動画を作成する	専任教員 ／歯科医師	
16 ～ 45	<u>カナダの環境、社会的背景を学ぶ</u> ・ Camosun College における歯科衛生士教育 学生間交流	専任教員 ／歯科医師	

研究Ⅱ

担 当 者	宮城高等歯科衛生士学院 教務主任 専任教員		
単 位	時間数	履修時期	
1	30	2年前・後期	
教 科 書	指定なし		
参 考 図 書	日本歯科衛生学会監修：「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第3版」 (医歯薬出版) 谷口英喜著：「はじめてとりくむ研究発表・論文作成」(医歯薬出版)		
一般目標 (GIO)	科学的根拠に基づいた歯科衛生行動をとるために、歯科衛生、歯科臨床に関する課題を自ら見出し、研究を行い、論文として作成するための基本的な知識、技術、態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. データを分析し、研究成果を発表する 2. リサーチ・クエスチョンに沿った研究計画を立案する 3. システマティックレビューを作成する 		
学習方略 (LS)	講義・演習		
学習評価 (EV)	出席状況、提出物		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>研究成果の公表</u> <ul style="list-style-type: none"> ・研究成果を公表する意義 ・学会発表、論文発表のプロセス 	教務主任	プロジェクター
2 ～ 4	<u>研究結果の集計と分析</u> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説とは何か ・データ分析と結果の解釈・考察 ・プレゼンテーション 	教務主任	プロジェクター
5 ～ 7	<u>研究計画の立案と研究計画書の作成</u> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカル・クエスチョンとリサーチ・クエスチョン ・研究計画立案時に考慮すべき点 	教務主任	プロジェクター コンピュータ
8	<u>システマティックレビューの目的と方法</u>	教務主任	プロジェクター
9 ～ 14	<u>システマティックレビューの実施と研究成果物の作成</u>	教務主任	プロジェクター コンピュータ
15	<u>研究発表 (プレゼンテーション)</u>	教務主任	プロジェクター

第 3 学 年

令和 4 年度入学生（ 第 5 3 回生 ）

令和4年度入学生（第53回生）教育課程

教育内容	該当科目	単位数	時間数	第1学年		第2学年		第3学年			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野				10	160						
科学的思考の基盤・人間と生活	自然科学・人文科学・社会学	化学	1	15	●						
		生物学の基礎	1	15	●						
		数学統計の基礎	1	15			●				
		社会倫理学	1	15			●				
	外国語	情報科学	1	20	●						
		実践英語	1	15	●						
		歯科英語	1	15			●				
コミュニケーション学	行動科学	1	20					●			
	心理学	2	30	●	●						
専門基礎分野				22	355						
人体の構造と機能	人体構造学	解剖学	2	30	●						
		組織・発生学	1	20		●					
	人体機能学(生理学)	2	30		●						
歯・口腔の構造と機能	生物物質・口腔の化学(生化学)		1	20	●						
	口腔構造学	口腔解剖学	2	30	●	●					
		歯牙解剖	1	20	●						
疾病の成り立ちと回復過程の促進	病理学・口腔病理学		2	30		●					
	薬理学・歯科薬理学		2	30		●					
	微生物学・口腔微生物学		2	30		●					
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	口腔衛生	1	20	●						
		公衆歯科衛生・歯科衛生統計	2	30		●					
	衛生学・公衆衛生学		1	20	●						
	カリオロジー学		1	15					●		
	衛生行政・社会福祉		2	30			●				
専門分野				64	2225						
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論		2	30	●	●					
	歯・歯髄疾患論	保存修復学	1	20		●					
歯内療法学		2	30			●					
臨床歯科医学	歯周疾患論	歯周療法学Ⅰ	2	30			●				
		歯周療法学Ⅱ	2	40					●		
	咀嚼障害・咬合異常論	歯科補綴学Ⅰ	1	15			●				
		歯科補綴学Ⅱ	1	15			●				
		歯科矯正学	1	15			●				
顎口腔疾患論 口腔外科学		1	20			●					
小児歯科学		1	20			●					
障がい者・高齢者歯科学		1	20			●					
予防処置論	口腔保健学	口腔疾患予防処置法Ⅰ	4	160	●	●					
		口腔疾患予防処置法Ⅱ	2	80			●	●			
		口腔疾患予防処置法Ⅲ	2	80					● ●		
歯科保健指導論	口腔保健学	保健指導法Ⅰ(含 栄養指導)	3	120	●	●					
		保健指導法Ⅱ	2	80			●	●			
		保健指導法Ⅲ(含 関連医学)	2	80					● ●		
		歯科衛生ケアプロセスⅠ	1	15			●				
歯科診療補助論	口腔保健学	歯科衛生ケアプロセスⅡ	1	15			●				
		歯科診療補助法Ⅰ	3	120	●	●					
		歯科診療補助法Ⅱ(含 歯科材料、歯科放射線学、介護技術)	3	120			●	●			
		歯科診療補助法Ⅲ	3	120					● ●		
		感染予防学	1	15			●				
臨床検査法		1	20			●	●				
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習Ⅰ		2	90	●	●					
	臨地・臨床実習Ⅱ		8	360			●	●			
	臨地・臨床実習Ⅲ		11	495					● ●		
必修隣接分野				15	359						
総合科目(健康と教養)	看護学Ⅰ		1	15		●					
	看護学Ⅱ		1	15					●		
	摂食・咀嚼・嚥下指導		2	40					● ●		
	病院管理学(社会保険・請求事務、歯科マネジメント)		1	15					●		
	総合歯学		5	104					●		
研究	海外研修		2	90			●	●			
	研究Ⅰ		1	20		●					
	研究Ⅱ		1	30			●	●			
	研究Ⅲ		1	30					● ●		
総計				111	3099	470	525	550	500	620	434
						995		1050		1054	

コミュニケーション学 ～行動科学～

担 当 者	保坂 誠 専任教員		
単 位	時間数	履修時期	
1	20	3年後期	
教 科 書	必要に応じ講義資料を配付する。		
参 考 図 書	佐藤陽子・齋藤淳、他 編：「歯科衛生ケアプロセス」（医歯薬出版）		
学習目標	人の健康や病は、ライフスタイルに深く関係しているため、医療従事者は人の行動特性を理解する必要がある。患者や自分の気持ちを理解し良い人間関係を築けることができるようになるために、臨床現場での応用を意識したコミュニケーション法に関する知識、技能を修得する。		
学習方略	講義、グループ実習		
学習評価	試験、レポート、グループ発表		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>保健行動の支援</u> 講義資料 P31-36 歯科衛生士としての倫理観 概念フィルター 傾聴を妨げるブロッキング リスニング（傾聴）の効果	保坂 誠	プロジェクター
2	<u>コミュニケーションの応用 1</u> 講義資料 P37-43 アサーショントレーニング 患者さんの行動特性 共感、同感、同情の違い 感情の想起について 演習：期待と感情の認知を学ぶ	保坂 誠	プロジェクター 糖尿病管理 DVD
3	<u>コミュニケーションの応用 2</u> 講義資料 P44-46 臨床現場におけるコミュニケーション コンプライアンス行動とお任せ医療 コンプライアンスとセルフケアの援助 演習：患者の期待と感情の認知を学ぶ	保坂 誠	プロジェクター
4	<u>コミュニケーションの応用 3</u> 講義資料 P47-54 医療面接で重要な空間的位置関係 対人距離の理解 パーソナルスペースの定義 演習：対人距離の測定	保坂 誠	プロジェクター

5	<u>医療面接技法 1</u> 質問法の種類について 基本的な質問法 主訴について 演習：医療情報を得るための質問法の違いについて	講義資料 P55-59	保坂 誠	プロジェクター
6	<u>医療面接技法 2</u> 沈黙、うながし、あいづち 共感的な繰り返し、要約 演習：タイプ A 行動特性テスト 演習：効果的な沈黙を学ぶ	講義資料 P60-64	保坂 誠	プロジェクター
7	<u>医療面接技法 3</u> テーラリング 解釈モデル 保健行動シーソーモデル 保健信念モデルにおける自己効力感 自己決定の支援 演習：肩もみによるコミュニケーション	講義資料 P65-69	保坂 誠	プロジェクター 歯科臨床編 DVD
8	<u>医療面接技法 4</u> 感覚を用いた症状の表現 歯科におけるコミュニケーションの特徴 カウンセリングとコーチングの応用 演習：医療面接のシナリオ作り 国家試験過去問、定期試験の対策	講義資料 P70-80	保坂 誠	プロジェクター
9 10	<u>医療面接（演習）</u> 医療面接技法のロールプレイ		専任教員	
	<u>試験</u>		保坂 誠	

カリオロジー学

担 当 者	高橋 信博 丹田 奈緒子 中條 和子 土門 ひと美		
単 位	時間数	履修時期	
1	16	3年前期	
教 科 書	必要に応じて資料配付		
参 考 図 書	これまでに学んだ各教科書を参考にする。		
学習目標	これまでに学んだう蝕に関する各事項を統合し「カリオロジー（う蝕学）」として理解する。		
学習方略	これまでに学んだう蝕に関するさまざまな事項を、う蝕学の専門家によるオムニバス講義を通して有機的に連結し、理解を深めるとともに専門性を高める。		
学習評価	各教員毎（授業毎ではなく）に400字以上でレポート（授業概要及び授業への感想・意見）を提出してもらい、各教員がA・A・B・C・D評価を行う。各評価を、講義コマ数を考慮の上、事務的に総合（数値化して合算）することで、本授業評価とする。		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	備 考
1	<u>口腔のエコロジーからみたカリオロジー（1）</u> — 口腔というユニークな環境を知ろう — 口腔を、多様で膨大な数の細菌が共生する「口腔生態系」として捉え、そこで生ずるプラークの形成、プラーク構成細菌の種類と代謝活性、唾液の作用について、エコロジー（生態学）の視点から理解する。	高橋 信博	口腔生化学
2	<u>口腔のエコロジーからみたカリオロジー（2）</u> — う蝕の起こる仕組みを知ろう — う蝕は「口腔生態系」の破綻、すなわち脱灰・再石灰化のバランスが脱灰に傾いた結果として生ずること、それとともにプラーク構成細菌が変化することでう蝕が促進していくことを、エコロジー（生態学）の視点から理解する。	高橋 信博	口腔生化学

3	<p><u>食生活からみたカリオロジー</u> う蝕の発生は食生活習慣、ことに間食習慣の乱れによって起こるので、その原因を理解し、それを通じて、う蝕予防指導を適切に行うためにはどのようにしたらよいかを理解する。</p>	高橋 信博	口腔生化学
4	<p><u>歯科臨床的見地からみたカリオロジー</u> 歯科健康診断にてう蝕の診断を行った場合は、その状態に合わせて事後支援を実施する。その際に必要なリスクの判断と情報の解釈に関して理解する。</p>	丹田 奈緒子	予防歯科学
5	<p><u>小児歯科からみたカリオロジー</u> 乳歯と永久歯の特徴の違い（う蝕の特徴）の復習を通して、ライフステージにあった口腔管理を考える。さらに、小児期のカリエスの統計の読み取りを行い、実際に行われている自治体の取り組みを知る。</p>	土門 ひと美	小児歯科学
6	<p><u>フッ化物応用とカリオロジー（1）</u> フッ化物は自然界に広く存在し、ヒトにとって身近な元素のひとつであることを知るとともに、フッ化物を安全に利用するために必要な事項、とくに全身に対する作用（急性および慢性毒性）について理解する。</p>	中條 和子	口腔生化学
7	<p><u>フッ化物応用とカリオロジー（2）</u> フッ化物の歯に対する作用（歯質強化、再石灰化促進）、および口腔細菌に対する作用（酸産生抑制）と、そのメカニズムを理解し、さらにはう蝕予防の為のフッ化物応用法へ理解を繋げる。</p>	中條 和子	口腔生化学
8	<p><u>代用甘味料の使用によるう蝕予防</u> 間食がう蝕の発生に大きな影響を及ぼすからには、間食（歯垢 pH 低下）の頻度を減らすことがう蝕予防の重要な手段となる。適切なう蝕予防指導を行うために、使用されるキシリトールなど種々の代用甘味料のう蝕誘発性、物理化学的性質、生体への為害作用などを理解、考察する。</p>	高橋 信博	口腔生化学

歯周療法学Ⅱ

担 当 者	玉澤 かほる 専任教員		
単 位	時間数	履修時期	
2	40	3年前期	
教 科 書	日本歯周病学会 編：「歯科衛生士のための歯周治療ガイドブック」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	歯周療法学Ⅰで使用する教科書に準ずる		
学習目標	歯周病治療における歯科衛生士としての役割を理解して、歯周診査をもとに口腔ケアプランを作成し、口腔清掃指導やスクーリング・ルートプレーニングおよびメンテナンスが実践的に行えるようにする。また、模擬患者実習を行い、各自の症例について、パソコンを使用してプレゼンテーションができるようにする。		
学習方略	講義、顎模型による実習、学生相互実習、模擬患者実習、ケースプレゼンテーション		
学習評価	レポート、ケースプレゼンテーション、筆記試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>オリエンテーション</u> <u>歯周疾患の分類</u> ：歯肉炎・歯周炎・咬合性外傷 etc <u>診査法</u> ：問診、口腔内一般診査、歯周疾患診査 <u>ファークーションプローブの使用法</u> （顎模型） <u>説明資料の作成</u>	玉澤 かほる	プロジェクター
2 3	<u>歯肉の炎症・炎症性因子の診査</u> （学生相互実習） <ul style="list-style-type: none"> ・歯肉の診査（色、形、表面性状） ・プラーク ・プラーク蓄積因子（歯石、修復物辺縁不適合、歯列不正、食片圧入、付着歯肉幅の狭小など） <u>歯周組織破壊の診査</u> （学生相互実習） プロービングデプス&プロービング時の出血（BOP） アタッチメントレベル 根分岐部病変、歯の動揺度、歯間離開度	玉澤 かほる	
4 5	<u>咬合性外傷</u> <ul style="list-style-type: none"> ・エックス線写真による診査 歯槽骨吸収のタイプと程度、歯根膜腔拡大、 歯槽硬線（白線）の状態、歯石、根分岐部病変 ・外傷性因子の診査 早期接触、ブラキシズム、食片圧入など 	玉澤 かほる	プロジェクター
6 7	<u>プラークコントロール</u> （学生相互実習）説明媒体使用 <ul style="list-style-type: none"> ・プラークコントロールレコード（PCR） ・動機づけ、患者教育 ・口腔清掃指導（TBI） 歯ブラシ&補助清掃用具（ワンタフトブラシ、 歯間ブラシ、フロス） 	玉澤 かほる	プロジェクター

8	<u>スケーリング&スケーリング・ルートプレーニング</u> <ul style="list-style-type: none"> ・スケーリング (SC) ・スケーリング・ルートプレーニング (SRP) ・鎌型スケーラー、超音波スケーラーの特徴・使用法 ・グレーシーキュレットの特徴・使用法 ・シャープニングの目的と方法 ・SC & SRP 試験 (顎模型) 	玉澤 かほる	プロジェクター
9 10	<u>スケーリング・ルートプレーニング</u> (学生相互実習) <ul style="list-style-type: none"> ・グレーシーキュレットによるSRP 口腔内固定・口腔外固定・保持固定 	玉澤 かほる ／専任教員	
11 12	<u>模擬患者実習 1 回目</u> (説明媒体使用) <ul style="list-style-type: none"> ・問診、口腔内写真撮影 ・歯周組織精密検査 ・検査結果の説明 ・縁上プラークコントロール(患者教育、TBI、SC) ・PMTC 	玉澤 かほる ／専任教員	
13	<u>診断と治療計画立案</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周診査・診断・治療計画 ・歯周治療の流れ 歯周基本治療／治療評価／メンテナンス・SPT 	玉澤 かほる	プロジェクター
14 15	<u>模擬患者実習 2 回目</u> (説明媒体使用) <ul style="list-style-type: none"> ・問診、口腔内写真撮影 ・歯周組織精密検査 ・1 回目実習成果の評価&説明 ・縁下プラークコントロール (グレーシーキュレットによるSRP) ・PMTC 	玉澤 かほる ／専任教員	
16	<u>歯周病の病型</u> <ul style="list-style-type: none"> ・歯肉炎、歯周炎、咬合性外傷 ・歯肉退縮、膿瘍、歯周一歯内病変 ・根分岐部病変 ・全身疾患と歯周病 (喫煙、糖尿病、服用薬など) ・歯周治療後の歯周組織 ・インプラント周囲炎 	玉澤 かほる	プロジェクター
17 18	<u>ケースプレゼンテーション (1)</u> <u>模擬患者実習 1 回目</u> <ul style="list-style-type: none"> ・診査結果の提示：問診 口腔内写真、歯周組織検査 ・歯周病の病態、歯周病の原因因子・危険因子 ・実践した介入内容と期待した介入効果 	玉澤 かほる ／専任教員	プロジェクター
19 20	<u>ケースプレゼンテーション (2)</u> <u>模擬患者実習 1 回目と 2 回目</u> <ul style="list-style-type: none"> ・診査結果の変化と考察 ・介入効果の評価 ・まとめ 	玉澤 かほる ／専任教員	プロジェクター
	<u>試験</u>	玉澤 かほる	

口腔保健学

担 当 者	専任教員／特別講師（歯科医師、歯科衛生士、他）		
	単位	時間	履修時期
口腔疾患予防処置法Ⅲ	2	80時間	3年
保健指導法Ⅲ	2	80時間	3年
歯科診療補助法Ⅲ	3	120時間	3年
教 科 書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」／最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」（医歯薬出版）／「歯科器械の知識と取り扱い」／「歯科材料の知識と取り扱い」／「最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理」（医歯薬出版）／歯科衛生ケアプロセス（医歯薬出版）		
参 考 図 書	「標準歯周病学」（医学書院）／「ペリオドンタルインスツルメンテーション」（医歯薬出版）／「口腔ケア健康ガイド」（学建書院）／「歯科保健指導ハンドブック」（医歯薬出版）／「喫煙と健康」（厚生労働省）／「デンタルプラーク細菌」（医歯薬出版）／「Dental Hygiene Theory and Practice 2nd ed.」（WB Saunders）／歯ブラシ事典（学建書院）他		
一般目標（GIO）	対象となる個人、集団のニーズに応じた適切な歯科衛生行動をとるために、問題解決能力を高め、専門的な支援の実践につながる知識、技術、態度を修得する		
行動目標（SBOs）	<ol style="list-style-type: none"> 1) 診療室における偶発事故の防止あるいは緊急時の対応をする 2) 公衆衛生における歯科保健行動を理解し、適切な支援を実施する 3) 歯科衛生ケアプランをもとに、歯科衛生介入を実施・評価する 4) 業務記録を作成する 5) 対象者中心、包括的な歯科衛生ケアについて考察する 		
学習方略（LS）	講義・演習・実習・グループ討議、および シミュレーション実習		
学習評価（EV）	形成的評価 チェックリスト、観察記録、簡略化 OSCE、プレ・ポストテスト 総括的評価 前・後期末試験 基礎知識客観試験、口頭試問、レポート		

回数	講義内容・項目	担当講師	使用機材
1 ～ 8	<u>歯科衛生士の行う専門的口腔ケア① 演習</u> ・摂食咀嚼嚥下に関連するレポート作製	専任教員	
9 ～ 12	<u>歯科衛生士の行う専門的口腔ケア② 演習</u> ・健口体操 教材資料作製	専任教員	
13 ～ 28	<u>歯科衛生士の行う専門的口腔ケア③ 実習</u> ・車椅子上での口腔ケア ・臥床での口腔ケア	専任教員	
29 ～ 31	<u>暫間被覆冠の作製④ 講義・演習</u> ・印象法（ブリッジ）、製作方法、即時重合レジン of 取扱い ・仮着材の取扱い、仮着	専任教員	
32 ～ 35	<u>対象別指導法 ～新生児期、乳幼児期～ 講義・演習</u> ・新生児期、乳幼児期の特徴 ・新生児期、乳幼児期の口腔に関する特徴 ・症例検討	専任教員	
	<u>臨床実習 事前準備・まとめ</u> ・オリエンテーション ・反省会、実習報告会	専任教員	
36 ～ 51	<u>総合実習</u> ・セメント練和 ・仮封 ・寒天・アルジネート連合印象 ・プロービング ・歯面研磨 ・口腔内写真撮影 ・超音波スケーラーの操作、1人バキューム ・術者磨き	専任教員	
52 ～ 57	<u>総合実習（模擬患者実習③④）</u> ・模擬患者実習 事前講義、事前実習	専任教員	
	<u>総合実習（模擬患者実習③）</u> アセスメント ・患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 ・問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） ・TBI、スケーリング、歯面研磨・フッ化物応用 ・栄養指導	専任教員 ／特別講師	
58 ～ 65	<u>総合実習（模擬患者実習③）</u> ・資料整理 ・プレゼン事前講義 ・ケアプロセスの展開	専任教員 ／特別講師	

66 67	<u>総合実習（模擬患者実習④）</u> ・事前実習	専任教員	
	<u>総合実習（模擬患者実習④）</u> アセスメント ・患者誘導、問診、口腔内概診・口腔内写真撮影 ・情報収集、処理 歯科衛生診断、計画立案 ・問題点の明確化と歯科衛生ケアプランの作成（簡易） 実施（歯科衛生介入） ・TBI、スクーリング、歯面研磨・フッ化物応用 ・栄養指導	専任教員 ／特別講師	
68 ～ 75	<u>総合実習（模擬患者実習③④） 演習</u> ・情報処理 ・プレゼン作成 ・ケースプレゼンテーション	専任教員	
76 ～ 79	<u>各現場活動における口腔衛生指導 演習</u> ・障がいへの理解 ・障がいのある方への対応の基本 ・様々なコミュニケーション方法を学ぶ	専任教員	
80	<u>全身と口腔領域との関連について① ～関連医学～</u> ・循環器、呼吸器疾患と口腔 ・泌尿器系疾患、血液疾患	特別講師	
81 ～ 83	<u>全身と口腔領域との関連について② ～関連医学～</u> ・高血圧病、動脈硬化症、心筋梗塞、狭心症 ・心疾患、心臓弁膜症、不整脈、ペースメーカー ・脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、麻痺	特別講師	
	<u>保育園実習 事前準備・まとめ</u> ・オリエンテーション ・反省会	専任教員	
84 ～ 95	<u>各現場活動における口腔衛生指導 演習（保育園実習）</u> ・指導案、教材資料作成 ・準備、リハーサル	専任教員	
96	<u>病院・医院経営と管理について①（総論） ～病院管理学～</u> ・歯科医院の環境 ・病院・医院経営にあたっての歯科衛生士の役割	歯科医師	
97	<u>病院・医院経営と管理について②（病院・医院管理）</u> <u>～病院管理学～</u> ・業務の効率化・能率化 ・メンテナンス	歯科医師	

98	<u>病院・医院経営と管理について③（医療安全管理）</u> <u>～病院管理学～</u> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の安全と医療の質の保証について ・医事紛争対応の基本、医事紛争の流れ ・医療事故を起こさないために 	歯科医師	
99 ～ 101	<u>就職特別講義</u>	特別講師	
	<u>実技試験、基礎知識客観試験</u>	専任教員	
102 ～ 104	<u>歯周疾患病状説明のためのグループワーク</u>	専任教員	
105 ～ 107	<u>簡略化OSCE ～3年次～</u>	専任教員	
108 109	<u>症例検討～プレゼンテーション</u> ・摂食咀嚼嚥下指導臨地実習症例検討会	専任教員	
110 ～ 119	<u>総復習講義</u> <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-right: 20px;">・歯科診療補助 <li style="margin-right: 20px;">・歯科予防処置 <li style="margin-right: 20px;">・歯科保健指導 <li style="margin-right: 20px;">・う蝕予防処置 <li style="margin-right: 20px;">・摂食咀嚼嚥下指導 	専任教員	
	<u>卒業認定試験</u>	専任教員	
120 ～ 140	<u>特別講義・総合実習（卒前実習）</u>	専任教員 ／特別講師	

看護学Ⅱ

担当 者	菅原 千恵子		
単 位		時間数	履修時期
1		15	3年後期
教 科 書	必要な資料を作成、配布します		
参 考 図 書	藤崎 郁、他 編：「看護学概論」「基礎看護学」（医学書院） 秋山正子、他 編：「地域・在宅看護論」（医学書院） 鈴木和子・渡辺裕子 著：「家族看護学」（日本看護協会出版社）		
学習目標	医療従事者に必要な「健康」「福祉」「人」「生活」「看護」についての概要を知り、対象に適切な援助を行うための一助にすることができる		
学習方略	講義、グループワーク、発表		
学習評価	授業内での記述物・グループワーク参加度・授業態度、および試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>保健・医療・福祉と健康</u> 保健・医療・福祉の動向 健康と病気、くらし・生活とは	菅原 千恵子	PC
2	<u>対象となる人の理解</u> 成長・発達概念（発達理論の概観、発達課題） ニード理論、発達システム理論、ストレス理論	菅原 千恵子	PC・DVD
3	<u>健康上のニードをもつ対象の理解と看護</u> 健康障がい過程 急性期、慢性期、回復期、終末期＝ターミナル	菅原 千恵子	PC
4	<u>ターミナルケア、緩和ケア</u> 人の生と死、がんについて ターミナルケア、緩和ケア、看取り、グリーフケア	菅原 千恵子	PC・DVD
5	<u>在宅ケアと家族支援</u> 家族とは、家族支援とは、 在宅ケア、介護予防、チーム医療、多職種連携、 自助・互助・共助・公助、地域包括ケアシステムについて	菅原 千恵子	PC
6	<u>事例検討（グループワーク）</u> 高齢者の口腔ケア A事例、B事例	菅原 千恵子	
7	<u>事例検討発表</u> <u>（口腔ケア指導計画と初期介入のロールプレイング）</u> グループ毎、質疑応答含む	菅原 千恵子	
8	<u>まとめ</u> これからの日本における健康問題 （高齢者を取り巻く問題、子育て支援に関する問題含む）	菅原 千恵子	PC
	<u>試験</u>	菅原 千恵子	

摂食・咀嚼・嚥下指導

担 当 者	佐藤 房郎 白石 成 渡邊 弘人 加藤 健吾		
単 位	時間数	履修時期	
2	3 2	3 年前期・後期	
教 科 書	日本歯科衛生士会 監：「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」(医歯薬出版)		
参 考 図 書	Logemann 摂食・嚥下障害 (医歯薬出版)、摂食・嚥下のメカニズム (CD-ROM) (医歯薬出版)、脳卒中の摂食・嚥下障害 (医歯薬出版)、食べる機能を回復する口腔ケア (医歯薬出版)、乳幼児の摂食指導 (医歯薬出版)、高齢者・障害者の「食」の援助プログラム (医歯薬出版)、介護のための口腔保健マニュアル (医歯薬出版)、歯科衛生ケアプロセス (医歯薬出版)、事例でわかる摂食・嚥下リハビリテーション (中央法規)		
一般目標 (GIO)	摂食嚥下障害を有する対象者および高齢者へ適切な歯科衛生ケアを行うため、摂食嚥下指導および専門的口腔ケアの基本的な知識・技術・態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	1) 摂食嚥下障害の概要を説明する 2) 摂食・咀嚼・嚥下に関わる解剖、生理について説明する 3) 摂食・咀嚼・嚥下機能の発達過程を説明する 4) 摂食嚥下リハビリテーションについて説明する 5) 摂食嚥下障害のアセスメント方法を説明し、実施する 6) 専門的口腔ケア (器質的、機能的) を理解し、実施する 7) 生活の質 (QOL) の向上につながる歯科衛生ケアについて考察する 8) 摂食嚥下リハビリテーションにおけるチームアプローチと、歯科衛生士の役割について考察する 9) 歯科衛生ケアプロセスの展開を行う		
学習方略 (LS)	講義・スモールグループ討議・演習・(臨地実習)		
学習評価 (EV)	口頭試問 観察記録 レポート 客観試験		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 2	<u>摂食嚥下障害と原疾患</u> ・咀嚼・嚥下に関する筋および神経支配と生理的機能 ・脳神経障害と嚥下障害	歯科医師	
3 4	<u>摂食嚥下障害に必要な口腔機能の基礎知識</u> ・全身状態の把握 ・スクリーニングの考え方	歯科医師	
5 6	<u>リハビリテーションの実際（講義・演習）</u> ・嚥下活動を運動学的に理解する ・嚥下の運動発達 ・嚥下と姿勢の関連性	理学療法士	
7 8	<u>歯科衛生士の行う専門的口腔ケア</u> ・歯科衛生士の行う専門的口腔ケアの考え方	歯科衛生士	
9 10	<u>咀嚼の意義</u> ・咀嚼と食塊形成と運動機能 ・残存歯と咀嚼の効率 ・義歯と咀嚼 ・咀嚼機能の評価 <u>摂食嚥下リハビリテーションの概念</u> ・事例から学ぶ	歯科医師	
11 12	<u>摂食嚥下機能のアセスメント</u> ・スクリーニング検査の概要 ・訓練の必要性和検査の実際 <u>摂食嚥下の基礎訓練</u> ・直接訓練法、間接訓練法 ・口腔内輸送を改善させるための訓練 構音、発声訓練、呼吸訓練	言語聴覚士	
13 14	<u>摂食嚥下リハビリテーション総論</u> ・摂食嚥下障害の概念 ・摂食嚥下障害と老化による機能衰退の関連性	医師	
15 16	<u>小児の摂食嚥下障害の特徴</u> ・リハビリテーションとハビリテーション ・動的嚥下障害と静的嚥下障害 ・神経（中枢を含む）筋系の障害	歯科医師	
	<u>試験</u>	専任教員	

病院管理学～社会保険・請求事務～

担 当 者	佐藤 繁久 西村 一将 後藤 良介 吉野 英司	
単 位	時間数	履修時期
1 (社会保険・請求事務、歯科マネジメント)	15	3年後期
教 科 書	大阪府歯科保険医協会 歯科臨床・学術部 編：「デンタルスタッフのための 歯科保険診療ハンドブック 最新版（現時点では2017年版）」	
参 考 図 書	歯科保険点数早見表	
学習目標	円滑な歯科医院業務に貢献できるよう、社会保険制度の仕組み及び保険請求 に関する基礎知識を修得する。	
学習方略	講義	
学習評価	筆記試験	

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1	<u>社会保障制度、保険診療の仕組みについて</u>	佐藤 繁久	PC プロジェクター
2	<u>歯科保険診療の実際①</u> 保険請求事務及び歯科保険点数早見表の見方 保険医療機関の指導について	佐藤 繁久	PC プロジェクター
3	<u>歯科保険診療の実際②</u> 医学管理、処置及び保存治療一般	後藤 良介	PC プロジェクター
4	<u>歯科保険診療の実際③</u> 歯周治療及び歯周外科	後藤 良介	PC プロジェクター
5	<u>歯科保険診療の実際④</u> 外科一般	吉野 英司	PC プロジェクター
6	<u>歯科保険診療の実際⑤</u> 歯冠修復及び欠損補綴(1)	吉野 英司	PC プロジェクター
7	<u>歯科保険診療の実際⑥</u> 歯冠修復及び欠損補綴(2)	西村 一将	PC プロジェクター
8	<u>歯科保険診療の実際⑦</u> 在宅診療と介護	西村 一将	PC プロジェクター
	<u>試験</u>	佐藤 繁久 西村 一将	

総合歯学

単位	時間数	履修時期
5	4 (各科目)	3年後期

回数	科目名	担当講師
1 2	<u>解剖学</u>	佐藤 匡
3 4	<u>組織・発生学</u>	中村 恵
5 6	<u>人体機能学 (生理学)</u>	中井 淳一
7 8	<u>生体物質・ 口腔の化学 (生化学)</u>	土門ひと美
9 10	<u>口腔解剖学</u>	佐藤 匡
11 12	<u>病理学・口腔病理学</u>	瀬戸 衆 土門ひと美
13 14	<u>薬理学・歯科薬理学</u>	若森 実
15 16	<u>微生物学・ 口腔微生物学</u>	多田 浩之
17 18	<u>口腔衛生</u>	丹田 奈緒子
19 20	<u>公衆歯科衛生・ 歯科衛生統計</u>	瀬名 浩太郎
21 22	<u>衛生学・公衆衛生学</u>	萩原 潤
23 24	<u>衛生行政・社会福祉</u>	渡部 芳彦

25 26	<u>保存修復学</u>	齋藤 正寛
27 28	<u>歯内療法学</u>	向阪 幸彦
29 30	<u>歯周療法学 I</u>	梶川 哲宏
31 32	<u>歯科補綴学 1</u>	江草 宏
33 34	<u>歯科補綴学 2</u>	小山 重人
35 36	<u>歯科矯正学</u>	坂東 加南
37 38	<u>口腔外科学</u>	江副 祐史
39 40	<u>小児歯科学</u>	但野 愛実
41 42	<u>障がい者歯科学</u>	長沼 由泰
43 44	<u>高齢者歯科学</u>	山口 哲史
45 46	<u>歯科口腔放射線学</u>	飯久保 正弘
47 48	<u>栄養と人体(栄養指導)</u>	佐々木 裕子
49 50	<u>感染予防学</u>	小林 洋子
51 52	<u>臨床検査法</u>	坪井 明人
	<u>卒業認定試験</u>	

研究Ⅲ

担 当 者	論文指導者／専任教員 黒川 修行		
単 位	時間数	履修時期	
1	30	3年前・後期	
教 科 書	指定なし		
参 考 図 書	日本歯科衛生学会監修：「歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第3版」 (医歯薬出版) 谷口英喜著：「はじめてとりくむ研究発表・論文作成」(医歯薬出版)		
一般目標 (GIO)	科学的根拠に基づいた歯科衛生行動をとるために、歯科衛生、歯科臨床に関する課題を自ら見出し、研究を行い、論文として作成するための基本的な知識、技術、態度を修得する		
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究に関連した文献を収集する 2. 研究に必要なデータを収集し、分析する 3. 研究結果を考察する 4. 研究の計画から論文提出にいたるまで、効果的に指導者に相談する 		
学習方略 (LS)	講義・演習		
学習評価 (EV)	卒業論文		

回数	講 義 内 容 ・ 項 目	担当講師	使用機材
1 ～ 5	<u>研究計画の立案</u>	論文指導者 ／専任教員	コンピュータ
6 ～ 10	<u>文献検索</u>	論文指導者 ／専任教員	コンピュータ
11 ～ 13	<u>文献の分析と集計</u>	論文指導者 ／専任教員	コンピュータ
14 ～ 15	<u>結果の考察、発表準備</u>	論文指導者 ／専任教員	コンピュータ
16 ～ 18	<u>研究の中間発表</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結果の表現方法 (プレゼンテーションの基礎) ・ プレゼンテーションの作成 (PowerPoint) ・ 中間発表会 	黒川 修行	プロジェクタ コンピュータ
19 ～ 30	<u>論文作成</u>	論文指導者	コンピュータ